



立命館大学 大学院

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
大学院課 衣笠キャンパス 至徳館4F
Tel. 075-465-8195

立命館大学 大学院 入試情報サイト

検索



詳しい情報はウェブサイトをご覧ください。http://ritsumei.ac.jp/gr/

本内容に掲載されている内容については、変更または中止される場合があります。

本誌におけるインタビュー記事およびメッセージ記事について、所属・役職、回生、教育組織・プログラム、活用した奨学金・支援制度名称等は取材当時または在学当時のものであり、現時点において最新の情報ではない場合があります。

大学院案内

RITSUMEIKAN GRADUATE SCHOOL GUIDE

2023



2022.04

立命館大学

立 命 館 憲 章

立命館は、西園寺公望を学祖とし、1900年、中川小十郎によって京都法政学校として創設された。「立命」の名は、『孟子』の「尽心章句」に由来し、立命館は「学問を通じて、自らの人生を切り拓く修養の場」を意味する。

立命館は、建学の精神を「自由と清新」とし、第2次世界大戦後、戦争の痛苦の体験を踏まえて、教学理念を「平和と民主主義」とした。

立命館は、時代と社会に真摯に向き合い、自主性を貫き、幾多の困難を乗り越えながら、広く内外の協力と支援を得て私立総合学園への道を歩んできた。

立命館は、アジア太平洋地域に位置する日本の学園として、歴史を誠実に見つめ、国際相互理解を通じた多文化共生の学園を確立する。

立命館は、教育・研究および文化・スポーツ活動を通じて信頼と連帯を育み、地域に根ざし、国際社会に開かれた学園づくりを進める。

立命館は、学園運営にあたって、私立の学園であることの特性を活かし、自主、民主、公正、公開、非暴力の原則を貫き、教職員と学生の参加、校友と父母の協力のもとに、社会連携を強め、学園の発展に努める。

立命館は、人類の未来を切り拓くために、学問研究の自由に基づき普遍的な価値の創造と人類の諸課題の解明に邁進する。その教育にあたっては、建学の精神と教学理念に基づき、「未来を信じ、未来に生きる」の精神をもって、確かな学力の上に、豊かな個性を花開かせ、正義と倫理をもった地球市民として活躍できる人間の育成に努める。

立命館は、この憲章の本旨を踏まえ、教育・研究機関として世界と日本の平和的・民主的・持続的発展に貢献する。

2006年7月21日 学校法人 立命館

Contents

立命館大学大学院 研究科の概要	02	スポーツ健康科学研究科	35
特色あるキャンパス	03	食マネジメント研究科	36
Topic1 大学院生活	05	理工学研究科	37
Topic2 修了生からのメッセージ	11	情報理工学研究科	38
Topic3 キャリアパス形成支援	13	生命科学研究科	39
Topic4 大学院生の進路・就職	17	薬学研究科	40
Topic5 立命館の研究力	19	経営学研究科	41
Topic6 立命館の国際性	21	政策科学研究科	42
社会人のみなさんへ	23	人間科学研究科	43
Faculty voice	25	テクノロジー・マネジメント研究科	44
研究科紹介		経営管理研究科[ビジネススクール]	45
法学研究科	27	法務研究科[法科大学院]	46
社会学研究科	28	教職研究科[教職大学院]	47
国際関係研究科	29	お問い合わせ先・移転情報	48
文学研究科	30	学費について	49
映像研究科	31	大学院入試 出願の流れ	51
言語教育情報研究科	32	各キャンパスへのアクセス	53
先端総合学術研究科[5年一貫制博士課程]	33	立命館大学大学院に関する情報の入手方法	54
経済学研究科	34		

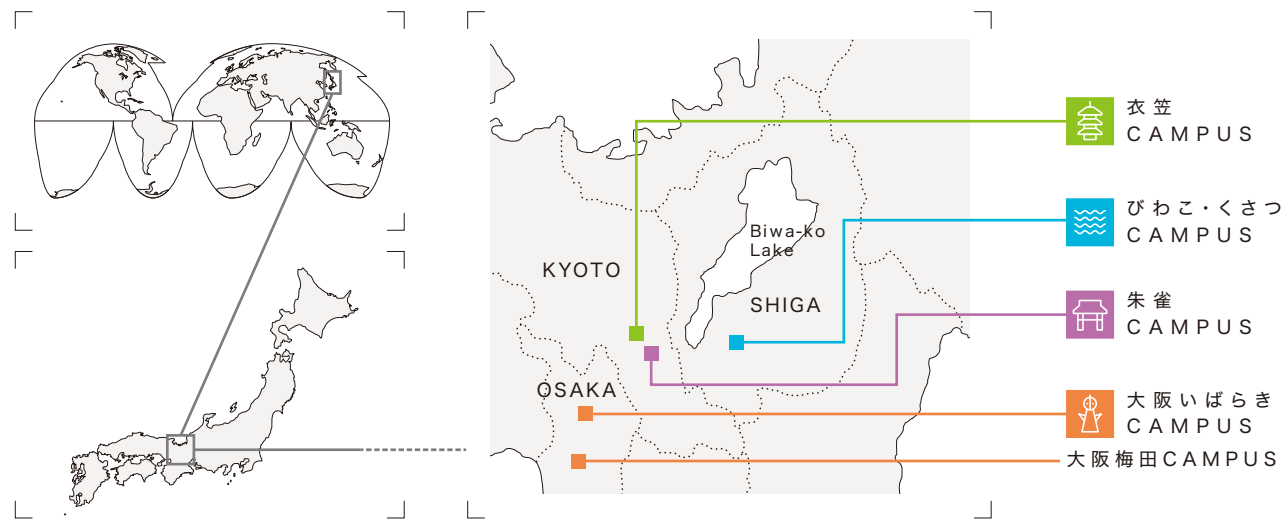
立命館大学大学院 研究科の概要

(2022年3月現在)				
	課程	専攻	学位	入学定員
衣笠 CAMPUS	法学研究科 Graduate School of Law	博士課程前期課程 法学専攻	修士(法学)	60名
		博士課程後期課程 法学専攻	博士(法学)	10名
	社会学研究科 Graduate School of Sociology	博士課程前期課程 応用社会学専攻	修士(社会学)	60名
		博士課程後期課程 応用社会学専攻	博士(社会学)	15名
国際関係研究科 Graduate School of International Relations	博士課程前期課程	国際関係学専攻	修士(国際関係学)	60名
	博士課程後期課程	国際関係学専攻	博士(国際関係学)	10名
文学研究科 Graduate School of Letters	博士課程前期課程 博士課程後期課程	人文学専攻	修士(文学)	70名
		行動文化情報学専攻	修士(文学)	35名
		人文学専攻	博士(文学)	20名
		行動文化情報学専攻	博士(文学)	15名
映像研究科 Graduate School of Image Arts ※映像研究科は2024年4月に大阪いばらきキャンパスへ移転します	修士課程	映像専攻	修士(映像)	10名
言語教育情報研究科 Graduate School of Language Education and Information Science	修士課程	言語教育情報専攻	修士(言語教育情報学)	60名
先端総合学術研究科 Graduate School of Core Ethics and Frontier Sciences	一貫制博士課程	先端総合学術専攻	博士(学術)	30名
経済学研究科 Graduate School of Economics	博士課程前期課程	経済学専攻	修士(経済学)	50名
	博士課程後期課程	経済学専攻	博士(経済学)	5名
スポーツ健康科学研究科 Graduate School of Sport and Health Science	博士課程前期課程	スポーツ健康科学専攻	修士(スポーツ健康科学)	25名
	博士課程後期課程	スポーツ健康科学専攻	博士(スポーツ健康科学)	8名
食マネジメント研究科 Graduate School of Gastronomy Management	博士課程前期課程	食マネジメント専攻	修士(食マネジメント)	20名
	博士課程後期課程	食マネジメント専攻	博士(食マネジメント)	3名
理工学研究科 Graduate School of Science and Engineering	博士課程前期課程	基礎理工学専攻	修士(理学)修士(工学)	50名
		電子システム専攻	修士(工学)	140名
		機械システム専攻	修士(工学)	140名
		環境都市専攻	修士(工学)	120名
	博士課程後期課程	基礎理工学専攻	博士(理学)博士(工学)	6名
		電子システム専攻	博士(工学)	8名
		機械システム専攻	博士(工学)	11名
		環境都市専攻	博士(工学)	15名
情報理工学研究科 Graduate School of Information Science and Engineering ※情報理工学研究科は2024年4月に大阪いばらきキャンパスへ移転します	博士課程前期課程	情報理工学専攻	修士(工学)	200名
	博士課程後期課程	情報理工学専攻	博士(工学)	15名
生命科学研究科 Graduate School of Life Sciences	博士課程前期課程	生命科学専攻	修士(理学)修士(工学)	150名
	博士課程後期課程	生命科学専攻	博士(理学)博士(工学)	15名
薬学研究科 Graduate School of Pharmacy	博士課程前期課程	薬科学専攻	修士(薬科学)	20名
	博士課程後期課程	薬科学専攻	博士(薬科学)	3名
	博士課程	薬学専攻	博士(薬学)	3名
経営学研究科 Graduate School of Business Administration	博士課程前期課程	企業経営専攻	修士(経営学)	60名
	博士課程後期課程	企業経営専攻	博士(経営学)	15名
政策科学研究科 Graduate School of Policy Science	博士課程前期課程	政策科学専攻	修士(政策科学)	40名
	博士課程後期課程	政策科学専攻	博士(政策科学)	15名
人間科学研究科 Graduate School of Human Science	博士課程前期課程	人間科学専攻	修士(人間科学)修士(心理学)	65名
	博士課程後期課程	人間科学専攻	博士(人間科学)博士(心理学)	20名
テクノロジー・マネジメント研究科 Graduate School of Technology Management	博士課程前期課程	テクノロジー・マネジメント専攻	修士(技術経営)	70名
	博士課程後期課程	テクノロジー・マネジメント専攻	博士(技術経営)	5名
経営管理研究科[ビジネススクール] Graduate School of Management	専門職学位課程	経営管理専攻	経営修士(専門職)	80名
法務研究科[法科大学院] School of Law	専門職学位課程	法曹養成専攻	法務博士(専門職)	70名
教職研究科[教職大学院] Graduate School of Professional Teacher Education	専門職学位課程	実践教育専攻	教職修士(専門職)	35名

- ・☀️夜間にも講義を行っています。詳細は各研究科のウェブサイトをご覧くださいか、各研究科事務局(P.48)までお問い合わせください。
- ・**E** 授業を英語で行う科目のみで学位取得に必要な単位を修得できる研究科および課程
- ・**9** 4月入学に加え、9月入学も実施している研究科(対象となる課程や専攻の詳細は各研究科の入試要項を確認願います)

地域に根ざし、世界と協働する 教育・研究を支える4つのキャンパス

日本の文化、政治、経済の中心地として長らく栄えてきた関西。
日本の歴史を受け継ぐ世界遺産や国宝を数多く有するだけでなく、古都京都、自然豊かな滋賀、ビジネスの街大阪、
と象徴されるように、さまざまな個性と魅力をあわせもち、世界を代表する国際都市として日々発展を続けています。
それぞれ特色あるエリアに配置した4つのキャンパスで相互連携し、
人類・自然・地域社会の発展に貢献する最先端の取り組みに挑戦しています。



■大学院生の学修・研究環境

立命館大学では、大学院生の多様な研究スタイルに対応できる環境の整備を進めています。

個人で学修・研究を集中して行える 「研究スペース」

静寂性に配慮したクローズな空間として大学院共同研究室を整備。パーティションで仕切られたキャレルデスクで論文執筆や発表資料作成などを落ち着いて進めることができます。



大学院共同研究室 (OIC)

グループでの作業やミーティングで活用できる 「打ち合わせスペース」

共同研究などでグループ作業を行う際や簡単なミーティングをすることが出来るスペースを整備。パソコンやプリンターもあります。



究論館打ち合わせスペース (衣笠)

研究成果を発信して研究科を越えた交流を促進する 「コミュニケーションスペース」

オープンな形式でのセミナーやプレゼンテーション、ポスターセッションを開催するなど、研究科を越えてコミュニケーションが図れるスペース。キッチンやカウンターも完備し、一息つけるラウンジとしての空間もあります。



究論館パフォーミングスペース (衣笠)

日本国内有数の蔵書冊数を誇る 「図書館・資料室」

蔵書冊数は私立大学トップクラス(約338万冊)、各資料室には専門性の高い研究資料を多く所蔵。大学院生は100冊を100日間借りることができます。



平井嘉一郎記念図書館 (衣笠)

■キャンパス紹介



京都／衣笠CAMPUS

古都・京都の歴史と文化が息づく、 多様な人文社系研究科が集まるキャンパス

古くから日本の中心として、長く厚みのある歴史をもち、多くの文化遺産に囲まれた地、京都。その中でも、古都の名刹に囲まれた閑静なエリアに位置し、日本の伝統や文化に触れながら先端の研究を世界へ発信する、伝統と創生のキャンパス。

- 法学研究科 ●社会学研究科 ●国際関係研究科 ●文学研究科 ●映像研究科*
- 言語教育情報研究科 ●先端総合学術研究科

※映像研究科は2024年4月に大阪いばらきキャンパスへ移転します



滋賀／びわこ・くさつCAMPUS

豊かな自然を活かし、国際水準の教育・ 研究環境を備えたキャンパス

私立大学最大級の理系教育・研究施設を備えるびわこ・くさつキャンパス (BKC) は、琵琶湖を含む大自然や、企業の研究施設が近くに位置する立地を活かした研究活動を実施しています。世界標準の教育研究、知見、技術を創出し、世界・地域へ発信するイノベティブ・キャンパス。

- 経済学研究科 ●スポーツ健康科学研究科 ●食マネジメント研究科
- 理工学研究科 ●情報理工学研究科* ●生命科学研究科 ●薬学研究科

※情報理工学研究科は2024年4月に大阪いばらきキャンパスへ移転します



大阪／大阪いばらきCAMPUS

商都・大阪で教育・研究のフィールドを アジアへと広げるキャンパス

大阪いばらきキャンパス (OIC) は、「アジアのゲートウェイ」として国際的な学びの拠点として位置づけています。また、「商都・大阪」という地域性を活かして、地域・社会と連携した教育・研究を進化させている最新のキャンパス。

- 経営学研究科 ●政策科学研究科 ●人間科学研究科
- テクノロジー・マネジメント研究科 ●経営管理研究科 [ビジネススクール]



■サテライトキャンパス 大阪梅田CAMPUS 大阪・梅田駅前に位置する、アクセス至便のキャンパス

社会的ネットワークの強化や就職支援に加え、学び・研究の拠点として大学院の授業を展開。多目的に利用できる最新設備を備えています。

- 言語教育情報研究科
- テクノロジー・マネジメント研究科
- 経営管理研究科 [ビジネススクール]



京都／朱雀CAMPUS

京都の歴史・文化と、都市の利便性・ 充実の研究設備をあわせもつキャンパス

専門職大学院を抱え、多様な研究スタイルに応える充実した研究設備や自習環境を備えています。古都・京都の中心部に位置し、京都の歴史・文化に触れながら、都市型キャンパスの利便性をあわせもつキャンパス。

- 法務研究科 [法科大学院]
- 教職研究科 [教職大学院]

大学院における研究活動の流れ

大学院生がどのように研究や就職活動を行っているかご存知ですか。各課程の例をご紹介します。
※以下は過ごし方の例であり、研究科や個人により異なります。

		博士課程前期(修士)課程	博士課程後期課程	専門職学位課程 (経営管理研究科)	専門職学位課程 (教職研究科)	専門職学位課程 (法務研究科) [法律未修者の例]	4年制博士課程	一貫制博士課程
1年目	春学期	● 授業選択 ● 修士論文のテーマを見つける		● 基礎科目を中心に履修(春1クォーター・春2クォーター) ● 「フィールドワーク」を受講(夏集中科目)	● 実習校・コースの決定 ● 教員採用試験の受験準備 ● 教職専門研修(実習)の実施(3週間) ● フィールドワークの実施 ※科目により実施時期は異なる	● 講義科目で徹底して各法の基礎を学ぶ ● 実務家教員による「法曹倫理」を受講 ● エクステンションセンター講座を受講(司法試験合格まで)	● 研究テーマの設定、課題絞り込み ● 研究計画書提出 ● 研究の具体化	● 研究課題の絞り込み ● 研究指導計画書提出 ● 論文作成基礎力養成 ● 調査、資料収集、文献研究等
	秋学期	● 就職活動の準備、情報収集 ● 修士論文のテーマを絞る ● 勉強会への参加 ● 就職活動準備	CHECK! 博士課程後期課程に進学する場合は2年目に入学試験を受験します。	● 展開科目を中心に履修(秋1クォーター・秋2クォーター)	● 教職専門研修報告会 ● コース科目の履修 ● 2年目の長期実習に向けた振り返りと計画作成		● 研究中間発表会	● 研究課題の具体化 ● 論文作成基礎力養成 ● 調査、資料収集、文献研究等
2年目	春学期	● 学会参加、発表 ● 就職活動 ● 修士論文の研究計画書の立案		● 課題研究レポートのテーマを設定し、執筆開始(春1クォーター) ● 課題研究と展開科目を中心に履修(春1クォーター・春2クォーター)	● 教職専門研修(実習)の実施(7週間) ● 教員採用試験の受験準備 ● 教職専門研修報告会	● 演習科目で応用力を身につける ● 基礎法学・隣接科目で視野を広げる ● 夏期短期海外プログラムなどで国際性を磨く	● 研究計画の進捗確認・見直し ● 研究計画書提出 ● 学会参加、発表	● 研究指導計画書提出 ● 紀要・学会誌等の論文執筆 ● 調査、資料収集、文献研究等 ● 博士予備論文執筆
	秋学期	● 中間報告会準備・発表 ● 修士論文の提出 ● 口頭試問、公聴会 ● 修士号取得		● 中間報告会(秋1クォーター) ● 課題研究レポートを提出(秋1クォーター) ● 研究成果報告会(秋2クォーター)	● 実習の振り返りと理論化を行い、「理論と実践の往還」による学びの成果を「教育実践探究論文」にまとめる		● 研究中間報告会 ● 投稿論文執筆	● 博士予備論文提出、口頭試問 ● 修士課程相当30単位を取得 ● 調査、資料収集、文献研究等 ※修士号取得退学可
3年目	春学期	社会学研究科 応用社会学専攻 博士課程前期課程 1回生 國本 真実さん → P.07	● 博士論文テーマの絞り込み ● 研究会参加 ● ゼミでの研究報告		教職研究科 実践教育専攻 修士課程 1回生 近藤 颯さん → P.10	● 臨床科目で法実務の現場(法律相談)を体験 ● 選択科目を受講しながら将来の専門分野を検討 ● 司法試験に出願* *2023年度司法試験から在学中受験が可能になります(所定科目を単位修得した場合)	● 研究計画の見直し、精緻化 ● 研究計画書提出	● 研究指導計画書提出 ● 学会参加、発表 ● 紀要・学会誌等の論文執筆 ● 調査、資料収集、文献研究等
	秋学期	スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 博士課程前期課程 1回生 奥村 公基さん → P.08	● 海外リサーチ ● リサーチ資料の整理・分析 ● 論文投稿				● 研究中間報告会 ● 学会参加、発表	● 学会参加、発表 ● 調査、資料収集、文献研究等
4年目	春学期		● 資料収集・資料整理・分析 ● 学会参加、発表 ● 2本目の論文投稿テーマ設定				● 研究計画書提出 ● 博士論文執筆	● 研究指導計画書提出 ● 調査、資料収集、文献研究等 ● 学会参加、発表 ● 紀要・学会誌等の論文執筆
	秋学期	人間科学研究科 人間科学専攻 博士課程前期課程 1回生 里 響貴さん → P.09	● 資料分析 ● 投稿論文執筆 ● 博士論文執筆			CHECK! 法学未修者コース：3年 法学既修者コース：2年の2つのコースがあります。	● 博士論文提出 ● 口頭試問 ● 公聴会(一般公開) ● 博士号取得	● 調査、資料収集、文献研究等 ● 学会参加、発表 ● 博士論文執筆
5年目	春学期		● 博士論文構想発表会 ● 博士論文執筆 ● 学会参加、発表					● 研究指導計画書提出 ● 博士論文構想発表会 ● 調査、資料収集、文献研究等 ● 紀要・学会誌等の論文執筆
	秋学期		● 博士論文提出 ● 口頭試問、公聴会 ● 博士号取得					● 調査、資料収集、文献研究等 ● 博士論文提出 ● 口頭試問、公聴会(一般公開) ● 博士号取得

P.07～12のインタビュー記事は、個人の当時の経験や感想を通して、大学院での生活や雰囲気をご紹介することを主旨としており、当該研究科の現在のカリキュラム、プログラム、状況等とは異なる場合があります。

現役院生からのアドバイス

社会学研究科 応用社会学専攻 博士課程前期課程1回生

國本 真実さん

研究テーマ パブリックトイレの「性別」はなにを分けているのか

公共空間のトイレである「パブリックトイレ」に焦点を当て、トイレという社会空間をジェンダー・セクシュアリティの視座から研究しています。小学生の頃から漠然と抱いていた、社会における「性」の扱われ方への疑問や違和感、性的マイノリティとされる人びとが、なぜ「マイノリティ」とされるのかという問いが研究の出発点になっています。



大学院での過ごし方

大学院生の2年間

	春semester	秋semester
1回生	●入学、授業スタート ●修士論文構想 ●研究会活動	●修士論文構想 ●文献調査 ●研究会活動 ●就職活動準備
2回生	●就職活動開始 ●修士論文構想発表会 ●文献調査 ●インタビュー調査、分析	●修士論文執筆 ●大学院修了 ●修士論文口頭試問

ある1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限	ゼミ			ゼミ		●日曜日は、1日(約8時間)アルバイトをしています。
第2時限	研究・課題		授業	授業	研究会	●研究や課題
第3時限	授業		授業	研究・課題		●趣味の時間(読書、ラジオ、音楽、映画、ドラマなど)も確保しています!
第4時限	研究・課題	研究・課題	TA			
第5時限			授業	授業	研究・課題	
第6時限	アルバイト		研究・課題	研究・課題		
第7時限						

ある1日のスケジュール

8:00	起床
10:30	登校
10:45	授業
12:15	昼食
12:55	授業
14:40	授業
16:20	授業
18:00	研究・課題
23:00	帰宅
24:30	夕食など
25:00	読書
就寝	



大学院生用の研究施設で集中して取り組むことができます

■たくさんの人との出会い

今年度の社会学研究科は、40名近い学生のうち約3分の2が留学生で、また社会人の方も数名在籍しています。年齢も育った環境も、そして何より研究テーマもバラバラで多様なバックグラウンドの方々とともに学び、議論することは刺激的でおもしろいです。大学院ではフレキシブルに時間を活用できるので、研究分野に関する読書会やオンラインセミナーに参加する機会が増えました。自分一人の世界に閉じこもり学びを完結させるのではなく、新しい場所に出て、たくさんの人と出会い、交わりたと思うようになり、またその大切さを実感しました。



■「言葉」にすることの難しさとおもしろさ

授業内でのディスカッションやレポート、修士論文の構想発表など、自分の考えを言語化し、伝える機会が日常的にあります。現象や課題を多角的・批判的に検討し、言語化することは容易ではなく、「なんだか引っかかるけれど、うまく言葉にできない」ということが多くあります。しかし、インプットとアウトプットを繰り返す中で、また、先生や他の院生との双方でのやり取りの中で、新たな視点が得られたり、自分の考えが整理され明確になっていくことで、言葉にして伝えることのおもしろさを感じるようになりました。

■研究会活動

社会学研究科には院生共同研究会助成制度という、大学院生の研究会活動に対して、立ち上げ、運営、研究にかかる費用を助成する制度があります。私は、研究科の先輩や同期たちと研究会を立ち上げました。研究テーマの分析基軸となるような理論と、具体的な問題の検討を行うことで、自身の研究に新たな洞察がもたらされるだけでなく、ゼミの垣根を超えたメンバーでディスカッションをすることで、多面的・学際的に考える機会となっています。研究活動を促進する体制が整っていることも、大学院の魅力だと思います。

■充実した奨学金・支援制度

私は、家庭の経済状況や大学の奨学金の返済があるため、大学院進学は視野に入れていませんでした。しかし、私が在籍している社会学研究科は、学部と比較し授業料がそれほど高くなく、入学試験の成績で、支給して頂ける奨学金制度もあります。それによって授業料の経済的な負担が軽減されるため、私の場合、大学が公立から私立に変わりましたが、大学時代と授業料の負担は大きく変化せずに済んでいます。大学院に進学したいけれど、経済的な不安を抱いておられる方は、一度奨学金や支援制度について調べてみて頂けたらと思います。

■将来について・・・どんな進路を考えていますか？

大学時代、福祉社会学を専門に、相談援助について学んでおり、社会福祉士の資格を持っています。社会福祉法人やNPO法人など福祉分野での就職を考えていますが、大学院に進学して、たくさん道があることに気づき、選択肢が広がったため、正直まだ迷っています。しかし、どの道を選ぶにしても、研究にも通じる自分の中の問題意識は持ち続けていきたいです。

大学院進学を検討する人へ

日常の中に、大学院生だからこそ見える世界や触れられる世界があります。そんな世界と出会うたびに、飛び上がるほどに嬉しく感じます。楽しいことばかりではないですが、好きな研究のことを中心に過ごすことができる日々は充実しています。大学院に進学したいと思うタイミングは人それぞれだと思いますが、研究をしようと思ったきっかけを忘れず、問題意識を持ち続けることが大切だと思います。

現役院生からのアドバイス

スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 博士課程前期課程1回生

奥村 公基さん

研究テーマ 新たな低負荷トレーニング法の開発

生物の適応能力は非常に面白く、負荷をかけることでそれに耐えるようなさまざまな適応が身体に起こります。私は筋肉の可逆性や負荷によって引き起こされる適応に興味を持ち、レジスタンス運動(筋トレ)や有酸素性運動(ランニングなど)によって引き起こされる筋肉の分子メカニズムの変化について研究を進めています。そして将来、そのメカニズムを応用し、少ない負荷で効率良く筋肉の適応を引き起こす方法を開発したいと考えています。



大学院での過ごし方

大学院生の2年間

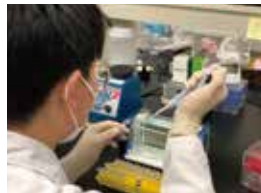
	春semester	秋semester
1回生	●入学 ●修士論文構想 ●学会発表(国内学会)	●修士論文構想 ●データ収集と解析 ●国際学会エントリー ●論文投稿
2回生	●修士論文構想 ●修士論文執筆 ●学会発表(国際学会) ●データ収集と解析	●修士論文提出 ●大学院修了 ●修士論文発表

ある1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限						●寝ることが好きなので土日は基本的にたっぷり寝ます
第2時限	研究		授業	研究		●課題や発表の準備
第3時限		研究			研究	●論文執筆に向けた調べもの
第4時限						●息抜きと気分転換(筋トレ、映画やドラマやアニメを見る、本を読む)
第5時限	ラボミーティング		データ解析や課題や発表準備	授業		
第6時限	データ解析や課題や発表準備	データ解析や課題や発表準備		データ解析や課題や発表準備		
第7時限		データ解析や課題や発表準備				

ある1日のスケジュール

8:00	起床
10:00	登校
10:45	研究
13:00	昼食
13:30	研究
16:20	授業
17:50	データ解析、授業の課題、発表準備
22:00	帰宅
23:00	夕食など
24:00	自由時間
就寝	



実験は段取りが重要、綿密な計画を立てて行います

■他分野からの進学

私は大学生のとき、他の学部を専攻していたので、今とは全く違った勉強をしていました。今の進路へのきっかけは、部活動にあります。中学～大学まで陸上競技に取り組んできた中で、大学生のある時、私は「科学的なトレーニング」が強くなるための近道になるのではないかと考えるようになりました。競技力の向上には様々な要素が関わってきますが、特に私は、力や動きを生み出すための源となる「筋肉」について興味をもちました。そこで、「筋肉」についてより深く学び、研究したいと考え、スポーツ健康科学研究科への進学を決意しました。

■研究が楽しいと思える瞬間

私の研究では、ウェスタンブロット法という方法を用いてタンパク質発現量を測定しています。一回の測定を終えるのに最低二日間かかる様々な工程を要し、その上タンパク質によって適切な実験プロトコルが異なるため、これまでに何度も失敗してきました。しかし原因を見つけて改善できた時には、すごい達成感と自信が湧いてきます。私はこの「なぜ?」を考え、突き詰めていくことが面白い点であると感じています。そして、研究を通して培われる論理的思考や問題解決能力は、社会に出ても何かにチャレンジする上でも役立つと思います。

■学部生の時には想像がつかなかった様々な交流

スポーツ健康科学研究科では他分野の院生とともに授業を受けます。このような機会があることで、自分とは違った視点で考え学ぶことができ、新しいアイデアの創出につながると感じています。また施設面でも充実しており、他分野の院生はもちろんのこと、社会人の院生や留学生とも気軽に交流できる「院生室」という大部屋があります。研究の話、何気ない会話に加え社会での貴重な話も聞くことができるため、自分の視野を広げられる有意義な時間を過ごせます。さらに所属のゼミでは、海外の大学とシンポジウムや共同研究を行っており、海外の最先端の研究に触れることができるためすごく刺激になります。



■授業での議論や発表で自分の成長を実感

大学院の授業はディスカッションや発表をする機会が多く、一つのことをより深く・より多角的な視点から思考するような学びになります。私は人前で話すことがあまり得意でなく、最初は悪戦苦闘していましたが、少しずつ相手の言いたいことの要点を掴んで自分の意見を言えるようになってきました。最近のディスカッションでは違った視点からアイデアを出すことを目標に、発表ではわかりやすく伝えることを目標に取り組んでいます。そしてこれらを通し、教員や院生と意見を交わしていく中で、日々成長を実感しています。

■将来について・・・どんな進路を考えていますか？

大学院博士課程後期課程に進みたいと考えています。そして将来は教員が研究者になりたいと考えています。

大学院進学を検討する人へ

学べないことなんてない。大学では他学部を専攻していたので、異なる分野の大学院進学にはたくさんの不安がありました。しかし入ってみて感じたのは、バックグラウンドが違うからこそ出せるアイデア・感じる学びがあるということです。もちろん勉強は大変ですが、その分今は4年間を凝縮したような非常に充実した時間になっています。新しい人・考え方・多種多様な問題に触れる機会があること、そして一つの問いにたくさんの時間をかけて考え続けられるのも大学院の魅力だと思います。

現役院生からのアドバイス

人間科学研究科 人間科学専攻 博士課程前期課程1回生

里 響貴さん

研究テーマ ユーモアを介してのアイデンティティ形成の自己エスノグラフィー

自分自身のアイデンティティ形成にユーモアが大きな影響を与えてきたと感じることが多く、その因果を解明したいという思いが研究の原点です。学部で研究を始めるときに、自分の知りたいことを深く追求するには大学院進学が必須であると感じていました。大学院では自己エスノグラフィーという手法を用い、自身の児童期から青年期におけるユーモアとの関わり合いが、自身が社会性を得るまでの経時的変化や自身のアイデンティティ形成に与えた影響について研究を行っています。



大学院での過ごし方

大学院生の2年間

	春セメスター	秋セメスター
1回生	●入学・授業スタート・ゼミ選択 ●企業インターン・自己分析・企業研究	●修士論文構想・転ゼミ ●フィールドワーク(高大連携プロジェクト) ●企業インターン・早期選考・OB訪問
2回生	●修士論文調査 ●内定獲得 ●就職活動開始	●修士論文執筆開始→提出 ●大学院修了

ある1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限	プロジェクトの準備	授業	ES・企業研究	プロジェクトの準備	インターンシップ	学費以外の支出は全て自己負担しています。土日はアルバイトに心血を注ぎます。唯一の癒し・リフレッシュは全てが終わったあとのサウナ浴です。日曜日の夜に通っています。
第2時限	高大連携プロジェクト	授業		プロジェクトの準備		
第3時限						
第4時限	研究・課題	研究・課題	研究・課題	高大連携プロジェクト		
第5時限	ゼミ	授業	授業			
第6時限	企業説明会	ES・企業研究	研究・課題	アルバイト	サウナ	
第7時限						

ある1日のスケジュール

7:30	起床
9:00	登校
	授業
12:00	研究・授業の課題
14:30	就職活動
16:20	授業
18:00	就職活動
20:00	帰宅
21:00	夕食など
	自由時間
24:00	就寝



研究や課題は大学院生用の施設で行います。気分を変えたいときはラウンジや図書館を使うことも。どこでもWi-Fiが使えるので便利です。

■幅広い領域の研究が可能な恵まれた環境

人間科学研究科では心理学のほとんどの領域を網羅する教授陣が揃っており、高水準の指導を受けることができます。大学院1回生の夏休みに自分の本当に知りたいことを悩み抜いた結果、研究方法の大幅な変更を決意しました。とても困難でしたが、様々な領域の教授を訪ね、研究方法について相談を重ねることで、自分の研究テーマをより深く追求できる教授と出会うことができました。自分が本当にしたい研究を不自由なく探すことができ、断念することがないこの研究科は唯一無二の研究機関だと断言できます。



■高度な実習プログラム

学部生の時のピアサポート活動(学生同士で行う教育支援)の経験から、大学院でも「対人援助学実習」という現役高校生と「ピアサポート」について共に理解を深める実習科目を受講しています。全て院生が主体で進めるので、毎授業、指導計画書、配布資料、投影用資料を作成する必要があります。その経験が学部生の時にはできなかった「ピアサポート」に対する綿密な関わりあいとなり、より視座が高められ、見識を深められました。高水準で綿密で浩々たる実習は学部生では経験できないものだと思います。

大学院進学を検討する人へ

大学院生は焦燥感との戦いだと言い起ります。大学の仲間はすでに社会人として働き始め、同級生は自分よりも修士論文が進んでいる状態、自分の中に焦燥の灯火が燃え広がります。焦燥感が極まると正解が見つからず、前門の虎・後門の狼の状態になることもあります。しかし焦燥感との戦いに勝ち、深い探求から成果を得たときの喜びは、大学院でしか味わえない貴重な経験です。一握の探究心と一抹の冀求で闇中を模索する覚悟がある人は是非大学院の門戸を叩いてください。

現役院生からのアドバイス

教職研究科 実践教育専攻 修士課程1回生

近藤 颯さん

研究テーマ 法的リテラシーを育成する高等学校公民科の単元開発

2022年4月1日から18歳を迎えた高校生は、自分の人生の多くを自分で決められることになります。しかし、現在の教育では公民科で憲法・労働法を、家庭科で消費者法を少し勉強するだけで、高校生の法的リテラシーは十分とは言えません。そこで婚姻の方法や、アパートの賃貸契約、騒音トラブルなど生活に関わる法律を用いて、高校生が幸せな人生の作り手となるための法的リテラシーを身につけることができる教育を研究しています。



大学院での過ごし方

大学院生の2年間

	春セメスター	秋セメスター
1回生	●授業 ●教職専門研修1(3週間) ●フィールドワーク ●コース選択	●授業 ●フィールドワーク ●教職専門研修1の報告会 ●教職専門研修2に向けての研究
2回生	●教職専門研修2(7週間) ●教職専門研修2の報告会	●授業 ●審査、報告会 ●教育実践探究論文の提出

ある1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限	課題	授業(文学部)	フィールドワーク	授業(文学部)	課題 授業(他研究科)	●友人と集まって予習や発表準備などをします。 ●研修に参加したり、自分たちでフィールドワークに行きます。 ●天気の良い日はゴルフに行きます。
第2時限		課題		課題	授業	
第3時限	授業(他研究科)	授業(文学部)	課題	課題	課題	
第4時限		課題			授業	
第5時限	授業	授業	授業	授業	課題	
第6時限				発表準備	アルバイト	
第7時限	発表準備	発表準備	発表準備	発表準備	アルバイト	

ある1日のスケジュール

7:00	起床
9:00	府立高校でフィールドワーク
12:00	みんなで昼食
13:00	フィールドワークの振り返り
14:40	授業
20:00	発表準備
22:00	帰宅
24:00	就寝



高校では教育手法を学ぶだけでなく、「先生」として授業も行います

■理論と実践の往還

教職研究科は「理論と実践の往還」をキーワードにしています。高度対人援助職である教員には、確かな理論と実践の両方が必要です。「どんな本を読んでも泳ぐことはできない。何も知らずに水に飛び込んでも泳ぐことはできない」、これは私の好きな先生の言葉です。理論を大学院の授業で学び、実践として合計10週間に亘り実際の教育現場(私の場合は高校)に入ります。教育実習とは異なり、職員室に机を並べ、その学校の"先生"として扱われます。その実践を理論化したものを教育実践探究論文にまとめます。このように理論をもとに実践を、実践から理論を、それを繰り返すことでプロフェッショナルな教員を目指します。

■総合大学としての強みを生かした学び

これまでの授業は知識を一方向的に注入することが一般的でした。しかし、社会の変化に伴い「何を知っているか」から「知っていることをどのように活用するか」と教育現場は大きな転換のなかにあります。そこで高校の授業では全ての教科で、単一解のない問いを議論し、発表する授業が増えました。そこで私は「話し合う力」、「論理的、説得的に発表する力」が求められると考え、学部時代に取得した社会科学に加え、文学部で国語科の免許を取得中です。また、高校で新しく始まる「歴史総合」における近現代史の専門性を高めるため、文学研究科など他研究科の授業も受講しています。このように立命館では総合大学としての強みを生かして、広い専門性を身につけることができます。

■現職の先生、様々なバックグラウンドを持つ仲間との学び

私は立命館大学の法学部で社会科学の教員免許を取得しました。教育実習を経験するうちに、学部卒業後すぐ教壇に立つよりも、法学部で学んだ専門性を、教職大学院で身につけた高い指導力で効果的に発揮できると考え、教職大学院へ進学しました。教職大学院には立命館大学の様々な学部、立命館大学以外の出身者に加え、教育現場で働きながら大学院で学ぶ現職の先生、なかには公立学校の管理職を退職されて入学された人もいます。特に、学部時代の専攻が異なる人たちが集まる大学院というのは珍しいのではないのでしょうか。グループワークではストレートマスター(学部を卒業してすぐ大学院に進学した院生)と現職の先生が同じグループになります。ストレートマスターの若い視点と現職の先生の熟練された経験とが合わさることで、お互いの視野が広がり、より良い教育が生まれます。現職の先生が楽しそうに学ばれている姿をみると、自分も「学び続ける教員」になりたいなと思います。



■謙虚に学び続け、全てを受け止めてくださる先生方

教職研究科の先生方は、実際に教育現場で活躍されていた教員が多く、中には校長や教頭をされていた方もいます。気さくな先生ばかりで、研究室に行くといくつもの話でも聞いてくれ、相談中自分が言葉にできていないことを見つけて言葉にしてくれます。とても頼れる先生方です。

■将来について… どんな進路を考えていますか？

まずは高校の先生になります。そして、十分な実践を積んだ後で、内地留学(現職教員のまま大学院等で研究ができる制度)で博士課程に進学し、実践を理論化したいと考えています。

大学院進学を検討する人へ

「なんで学校の先生になりたいの?」。教員を目指す人たちがいちばん聞かれることだと思います。「理論と実践の往還」が大切だと述べましたが、そこにも「先生になりたい!」という情熱が原点にあります。教職大学院への進学を考えている人は「なんで学校の先生になりたいの?」という自分の原点をもう一度考えてみてください。それが大学院での学びの原動力になります。



 言語教育情報研究科
衣笠
キャンパス

2012年3月
修士課程修了

多田 一馬さん

アマゾンジャパン合同会社 勤務

興味ある学びに溢れ、毎日が充実していた大学院生活

大学在学中は文学部で日本史学を専攻していましたが、塾講師のアルバイトで英語を教えるようになったことで、英語という言葉に興味を持ちました。そこで英語教員の専修免許状の取得を目指しながら、言語学を学べる言語教育情報研究科に魅力を感じて進学することにしました。

進学後は、とても充実した日々を過ごしました。大学時代に地理歴史教員の一種免許状は取得していましたが、大学院ではさらに英語の専修免許状を取得するために必要な授業を履修していたので、授業の数は他の修士生の倍以上だったと思います。また、TESOL資格取得プログラムにも興味があったので、1回生の夏にはオーストラリアのサザンクイーンズランド大学に5週間留学し、英語非母語話者への英語教授法についても学びました。言語教育情報研究科では、自身が所属するプログラム以外の専門科目も履修できたので、英語情報に関する授業だけではなく、興味のある英語教育や日本語教育に関する授業も積極的に履修するようにしていました。

当初は英語教員を目指して大学院に進学しましたが、大学院での経験を経て、自分が本当にしたいことを見つけ、最終的に民間企業に就職しました。

大学院には、大学とは違った刺激があります。今何をしたいかわからないという方は、ぜひ前向きに進学を検討してみてください。

「深く分析する」経験が、仕事での強みに繋がる

研究職とは関係のない民間企業に就職したため、学んだことを直接仕事に活かしているわけではありませんが、大学院で身に付けた「物事を深く分析する力」は、自身の大きな強みになっています。

アマゾンではOur Leadership Principles(OLP)と呼ばれる全社員が大切にしている行動指針があり、その中にDive Deepという項目があります。問題を解決するときはその真因を探るために「深く潜る」ということですが、大学院では履修科目に関係なく、この深く潜るサイクルの繰り返しでした。その経験から得た自身の強みを、まさに今、活かすことができています。



 経営学研究科
大阪いばらき
キャンパス

2019年3月
博士課程前期課程修了

河野 広夢さん

独立行政法人
中小企業基盤整備機構 勤務

現場を見て、経営者の話を聴くのは有意義な経験だった

父が中小企業を経営しており、いずれは事業を承継する立場にあることから、学問として中小企業について学びたいと思ったのが進学の実動機です。

研究テーマは「産業集積サプライチェーンと事業継承」です。後継者がいないために事業が継続できない事業承継問題は、今、中小企業にとって大きな問題となっています。中小企業が集まる産業集積地では、細かな分業体制が構築されているため、1企業の事業承継問題が体制全体に影響するのです。国が推進する大企業によるM&Aや第三者による承継は、これまでの体制を破壊するのではないかという問題意識から研究を始めました。

研究を進める中で、東大阪地域の零細企業約20社にインタビュー調査を行いました。最近起こった問題なので先行研究も少なく、協力していただける企業も少なかったため、心が折れそうな時もありましたが、実際に企業と交渉して協力をいただくまでの交渉力や行動力を身につけることができましたし、ものづくりの現場を実際に見て、経営者の思いを聴くことができました。

立命館と大阪府中小企業家同友会との連携協力協定の一環として開設された課外プログラム「事業継承塾」では、毎週、中小企業の経営者が来てくださって、自身の経営の紆余曲折や事業承継についてお話しくださいます。経営理念を持つことの大切さや従業員との関わり方、ファミリービジネスとして家族関係の大切さも学び、私自身も、もっと父と話さなければと思うようになりました。

大学院で身につける専門性、論理的思考力、批判的な視点、考えを自分の言葉で表現する能力は、社会人としての大きな武器

研究を通して得た現場での経験は、自分自身の人生を考える上でも有意義でした。就職先として中小企業を支援する機構を選んだのも、大学院での学びがきっかけです。

大学院は、与えられた課題をこなす「勉強」ではなく、興味のあることを深く追求する「研究」を行う場です。その過程で身につける専門性、論理的思考力、批判的な視点、考えを自分の言葉で表現する能力は、社会人としての大きな武器になると思います。それが大学院で学ぶことの意味ではないでしょうか。



 生命科学研究所
びわこ・くさつ
キャンパス

2018年3月
博士課程前期課程修了

山内 優子さん

イービーエス株式会社 勤務

大学院生だからこそその経験と、学びがあった

学部4回生から卒業研究が始まりましたが、就活の期間も加味すると、研究できる期間は実質半年程度でした。未知のテーマに取り組むには時間が足りないと考えたのが、大学院進学を考え始めたきっかけです。進学により、3年間というまとまった期間を研究に費やせるとともに、自身の将来の選択肢も大きく増やすことができると考え、進学を決断しました。

大学院では毎日、実験・データの整理後、結果について先生へ報告し、今後の研究計画について議論しました。結果の整理、先生方との議論を繰り返す中で、日々論理的思考力が培われ、考えを言葉にして表現する力も身についたように思います。また、研究室には様々な国籍の留学生が在籍していましたので、学部生への指導やTAを通じた後輩指導とともに、留学生への研究指導も経験しました。留学生生活という限られた期間で成果を出すために、共に試行錯誤し、深く関わり合いながら研究生生活を送りました。大学院に進学したからこそできた貴重な経験であり、一生の友達もできました。その他にも、イリノイ大学との共同ポスター発表会など、英語による研究発表を複数回経験し、外国での研究に対する価値観に触れるなど、国際的感覚を養える学びがありました。

大きな強みは、専門知識と論理的思考に基づいたコミュニケーション力

私は現在、CRO(医薬品・医療機器開発業務受託機関)で勤務しています。医薬品の開発業務では病院の先生の見解などをお伺いする機会も多く、大学院で身につけた医学知識が直結して役立っています。また、医療機関の方々とのコミュニケーションにおいては、研究内容についての議論をはじめ、学会発表での質疑応答など、論理的に自身の意見を発信する機会が多い大学院生活を送った経験が生きていると感じます。大学院進学は、将来の選択肢が大きく広がるチャンスだと思います。学部だけでは関わるできない方々と出会うこともできます。自分の意思で、最後には納得して進路を選択できるよう、まずは周囲のいろいろな方の話を聞いてみることをおすすめします。



 教職研究科
朱雀
キャンパス

2019年3月
専門職課程修了

長澤 香澄さん

公立小学校 教諭

かけがえのない出会い、経験、探求の時間

教職研究科は、大学院生・教員・職員が一体となっているアットホームな研究科でした。出身学部が様々なので、多様な切り口で話ができ面白かったですし、大先輩である現職教員院生の先生方と「同級生」として対等に学び、議論した経験は、今の職場の先生との関わりにも生きているように思います。教授の研究室に集まって、研究のことからプライベートなことまで、みんなでいろいろ話をしました。一人で集中したい時にはチャレで、話し合いながら進めたい時やほっと一息つきたい時には共同研究室で過ごしました。かけがえのない仲間と出会えたこと、温かく迎えてくれる場所があることが、今も心の支えになっています。

授業からも、多くの学びがありました。週1回のフィールドワークでは、いろいろな学校や施設を訪れます。「百聞は一見に如かず」と言うように、本を読んで得る知識とは異なる次元での理解がありました。また、連携協力校での長期実習(1回生で3週間、2回生で7週間)で実践したことを「教育実践探究論文」にまとめることで、漠然と考えていたことの正体が少しずつ明らかになり、新たな発見もありました。教職研究科での出会いや経験が、私の教育観や子ども観に大いに反映されたと思います。

自信をもって、教師になるために

学部時代、自分に教師が務まるだろうかと不安がありました。しかし就職活動をするうち、やはり学校で働きたいという気持ちが芽生え、ならば専門性を高めて自信をもって教壇に立ちたい、との思いから教職大学院へ進学しました。学部で取得できなかった小学校の免許を取得できる点も、魅力的でした。

教師は、大学院を卒業しなくても就職できる職業です。周りは就職して働いているのに…と悩むこともあるかもしれませんが、それでも私は「進学してよかった」と心から思える密度の濃い日々を過ごし、多くの気づきや仲間との出会い、自信を得て、今教壇に立っています。教職という仕事を真剣に考える人には、ぜひ教職研究科でのかけがえのない毎日を、選択肢に入れて欲しいと思います。

立命館のキャリアパス支援について

大学院キャリアパス
推進室ウェブサイト

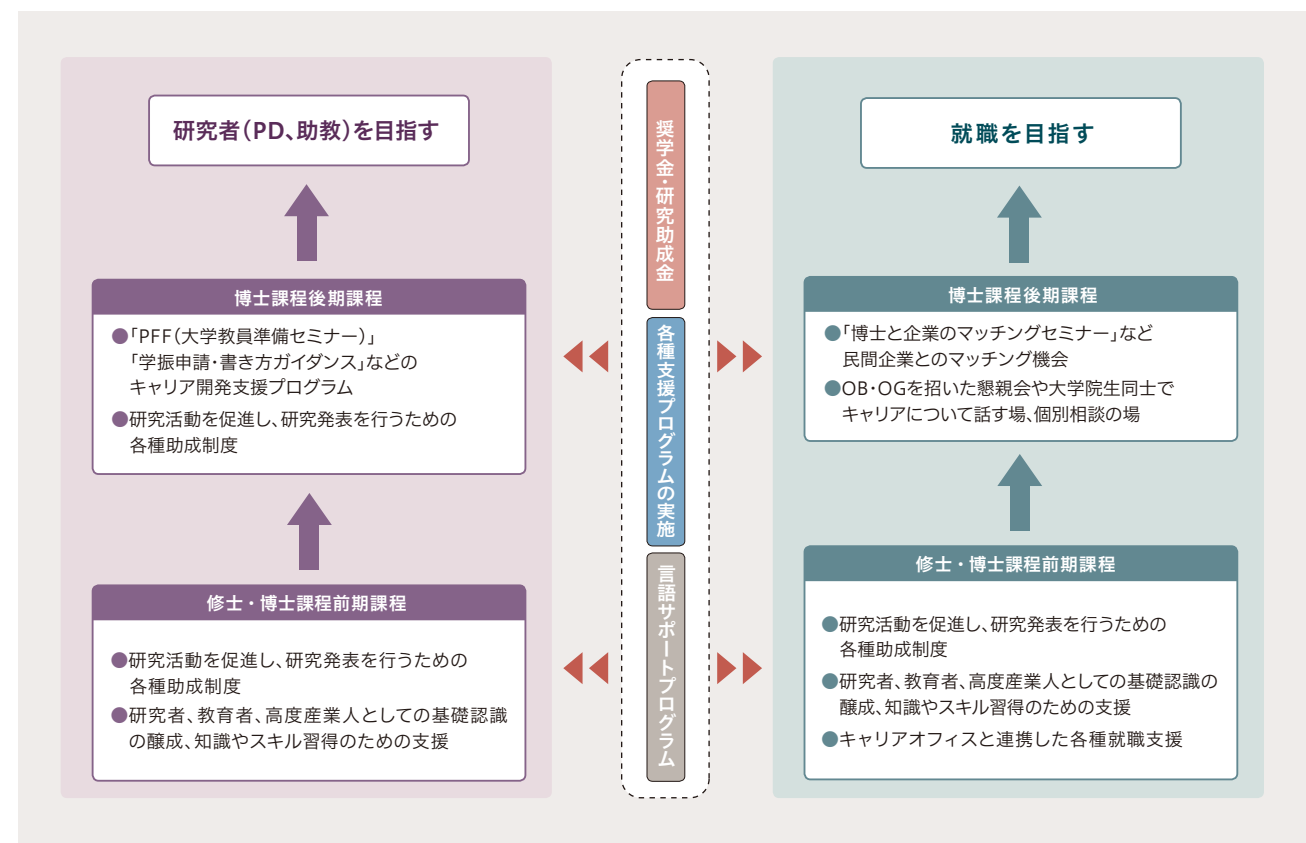
立命館大学の大学院キャリアパス推進室は、
大学院生の学びに対して **2つの側面** から支援をしています。



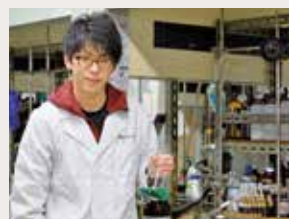
立命館大学では、建学の精神と教学理念に基づき、若手研究者の育成を推進するために、
大学院生に特化したキャリアパス支援を行う「大学院キャリアパス推進室」を設置しています。

「大学院キャリアパス推進室」では、研究支援、教育支援、キャリア支援の各部門を中心に、
国際部も含めて横断的に連携し、包括的な支援を実施しています。

大学院生が活き活きと研究に取り組める環境構築、また、研究者ライフコースの視点による若手研究者の人材育成支援を行うために、
「大学院キャリアパス推進室」は、大学院生へのキャリアパス支援についてさらなる拡充に取り組んでいます。



キャリアパス支援制度利用者の声

立命館大学初
育志賞受賞！日本学術振興会
特別研究員

生命科学研究所
博士課程後期課程 2020年3月修了
名古屋工業大学大学院
工学研究科 助教

研究分野：
有機化学、光化学、超分子化学
松原 翔吾さん

学内セミナーの活用、早めの準備、そして自身の研究を楽しむこと
これが、採択のためのキーワードです。

日本学術振興会の特別研究員(以下、学振)に採択されることは、自身のキャリア形成においてかなり有利になります。簡単には採択されないとは聞いていましたが、チャレンジしてみようと思い、博士課程前期課程1回生の冬頃から申請書作成の準備を始めました。学振の申請書は、かなりの分量があるだけでなく、内容に一貫性をもってまとめることが大切になります。文書をまとめているうちに考え方が整理されることもあれば、新たに関心が湧き、一から書き直す羽目になることもあり、書き上げてからも何度も読み直してブラッシュアップしました。

私は将来、アカデミアでの就職を考えています。研究は、研究対象や自分自身と黙々と向きあうことが多く、なんらかの成果が出たとしても「誰かに認められる」ことが少ないものです。その中で「学振に採択をされた」ということは大きな自信となり、アカデミアへの想いをさらに後押ししてくれることになりました。

大学院キャリアパス推進室では、学振申請のための様々なサポートを行っています。これらのセミナーをうまく活用すること、そして早めに準備を始めること、そしてなにより研究を楽しむこと、それが学振採択のためのキーになると 생각합니다。

博士論文出版助成金



先端総合学術研究所
一貫制博士課程 2018年3月修了
立命館大学 衣笠総合研究機構
専門研究員

研究分野:医療史
坂井 めぐみさん

「博士論文出版助成金」を活用し、博士論文を学術図書として刊行。刊行を含む
研究成果に対して「第14回日本科学史学会学術奨励賞」を受賞しました。

私は、2019年度より衣笠総合研究機構専門研究員として医療史研究を行っています。大学院では、これまで見落とされてきた脊髄損傷者の「治療には結びつかない医療」が、いかに形成・展開してきたのか社会情勢、医療制度、法律、患者の生活と関連づけながら、幕末期から現在にわたって検討することにより、「患者」の位置づけがどう変容したのかについて研究していました。2019年7月、大学院キャリアパス推進室が主管する「2018年度 立命館大学大学院博士論文出版助成金」を活用し、博士論文に加筆する形で、『「患者」の生成と変容：日本における脊髄損傷医療の歴史的研究』(晃洋書房)を刊行しました。

出版には高額な費用が必要でしたが、この制度のお陰で出版費用の大半を助成してもらうことができ、私にとって大きな研究業績のひとつとなり、修了後のキャリア獲得につながりました。そして、刊行を含む研究成果に対し「第14回日本科学史学会学術奨励賞」を受賞しました。これからも科学史および技術史の分野に貢献できるよう、地道に研究を続けていきたいと思っています。

2021年度
日本学術振興会
特別研究員採用

奨学金



スポーツ健康科学研究科
博士課程後期課程1回生(取材当時)

研究分野：
スポーツ健康科学、女性スポーツ
競技者における貧血・鉄欠乏
林 七虹さん

奨学金を活用して国際学会発表に初挑戦。
研究活動など様々な活動を通じて研究力向上に努めました。

立命館大学では各種奨学金・助成制度が充実しており、これらを上手く活用することで自分自身の学びの場を広げることができます。

大学院では、学部生に比べて、学会など国内外において研究成果を発表する機会が多くなります。私は、博士課程後期課程へ進学しましたが、国際学会への参加は研究者としての経験を積む意味でとても大切である一方、学生である私たちにとっては経済面での心配は避けられません。私自身も不安な気持ちがありましたが「学生学会奨学金」を活用して、国際学会へ積極的に参加することができました。国際学会では、海外の研究者と交流する機会に恵まれ、大きな自信となりました。

また、自分自身の学びにつながったと思う制度は「学生研究会活動支援」です。大学院生による自主的な研究会を支援してもらえる制度ですが、その中で良かったと感じるのが「報告会」があったことです。大学院キャリアパス推進室が所管する各種制度においては、「報告会」としてアウトプットする機会が設けられているものが多く、他者へ伝えるという経験を積むことで、研究者としてのスキルを磨くことができたように感じます。

立命館のキャリアパス支援について

■奨学金・助成制度の概要

下記は本学独自の奨学金・助成制度であり、返還義務のない奨学金・助成制度です。内容は2022年度の概要であり、2023年度以降の制度に一部修正、統合などが発生する可能性があります。最新の情報については、大学院キャリアパス推進室ウェブサイト、各制度の募集要項等を参照してください。本ウェブサイトでは、各種セミナー・プログラムについても紹介しています。

※専門職学位課程は、一部対象とならない奨学金・助成制度がありますので、詳細は募集要項をご確認ください。



大学院キャリアパス推進室ウェブサイト
(奨学金・研究助成)

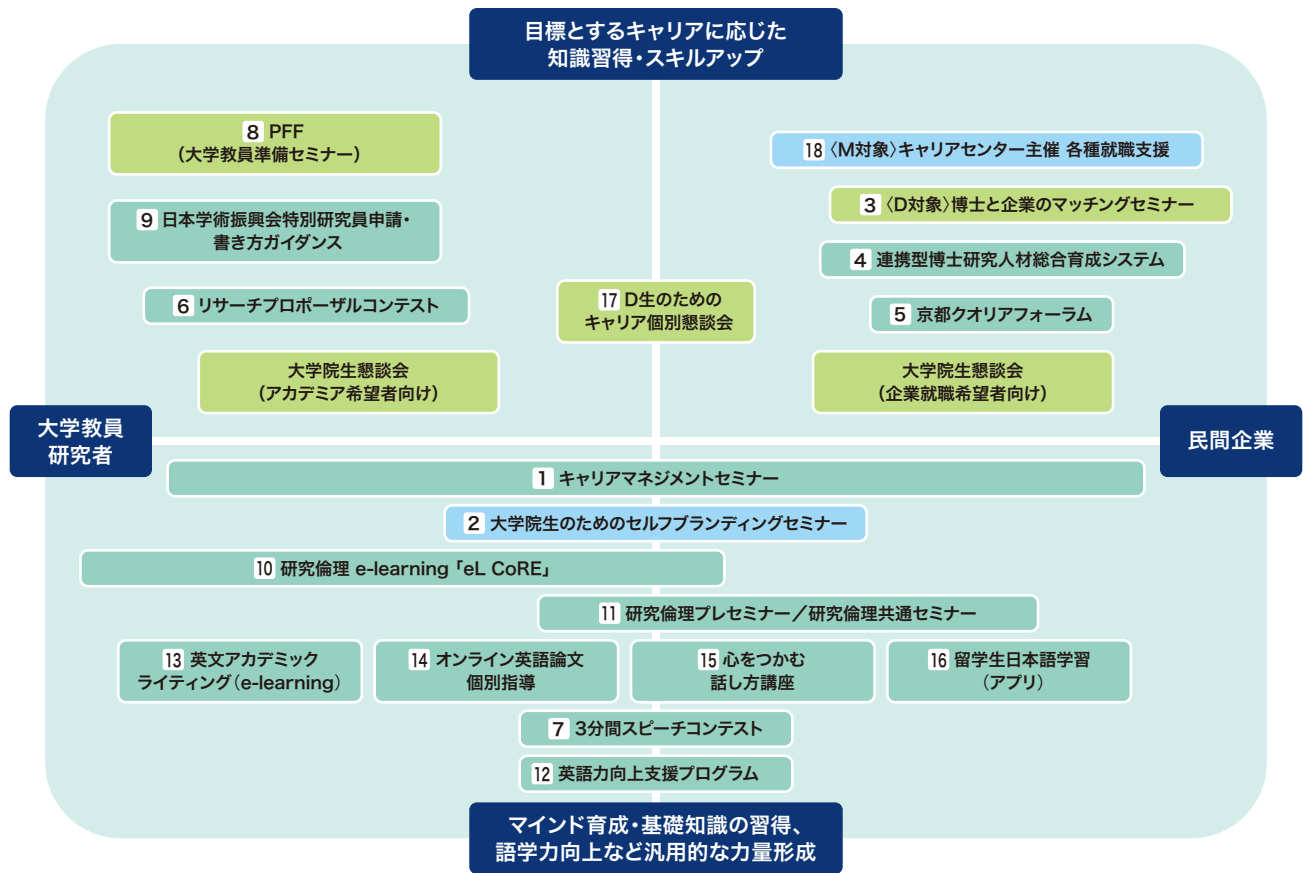
	M1	M2	D1	D2	D3
成績優秀者の入学・学修・研究を奨励	1年次対象 成績優秀者奨学金 10～60万円 (研究科ごとに異なる)	2年次対象 成績優秀者奨学金 10～60万円 (研究科ごとに異なる)	研究奨励奨学金 S給付：年間の授業料相当額 A給付：年間の授業料相当額 B給付：年間の授業料の1/2相当額		
			NEXTフェローシップ・プログラム 研究専念支援金：年間216万円(月額18万円) 研究費：年間 34万円		
			RARA学生フェロー 研究活動支援金：年間216万円(月額18万円) 研究費：年間 34万円		
研究活動したい	研究実践活動補助金 国内研究実践：1.5～3万円 国外研究実践：2～20万円		国際的・国内研究活動促進研究費 国内：5～10万円(研究活動期間に応じて給付) 国際的：研究助成金 10～30万円・海外渡航に要する交通費		
学会に参加したい	学生学会奨学金 学会参加奨励(オンライン参加)：一律 5千円 学会参加奨励(現地参加)：一律 1万円 学会発表奨励(オンライン発表／誌上開催)：一律 2万円 学会発表奨励(国内現地発表)：一律 3万円 学会発表奨励(国外現地発表)：一律 10万円				
学会で研究成果を発表したい					
研究科を越えて研究会活動したい	学生研究会活動支援 経費支援(1研究会あたり年額10万円上限)・施設支援				
英語論文を投稿したい	英語論文投稿支援補助金(院生) 英語論文校正費：上限3万円 英語論文投稿費：上限5万円				
語学を学びたい	ベーススキル向上支援補助金 所定の講座の受講料の全額または一部				
TOEIC®・TOEFL®等を受験したい	英語団体受験補助制度 学内で行うTOEFL ITP®テストとTOEIC®L&R IPテストの団体受験料を補助する制度				
海外留学したい	留学協定等にもとづく留学プログラムに対する奨学金 派遣期間中に派遣先に納付する学費または本学に納付する入学金を除く学費の1/2相当額				
国外の研究者と共同研究したい	国外共同研究奨学金 10～80万円(地域・日数に応じて給付)				
博士論文を出版したい	(博士学位論文を出版する際に、その経費の一部(最大100万円)を補助)				
	博士論文出版助成金 (人文社系の研究科のみ)				

※TOEIC®、TOEFL®はEducational Testing Service(ETS)の登録商標です。

※TOEIC®L&R IPテストの「L&R」は、Listening & Readingの短縮形です。

■キャリアパス支援プログラム

研究活動を通じて身につけた知識や能力を多様な分野で活かせるよう、キャリアパス形成に必要な基礎知識やスキルの習得、研究科を越えたネットワーク構築のための多様な企画を実施しています。今回は、その一部を紹介します。



1 キャリアマネジメントセミナー

大学や企業の第一線で活躍されている方々をお招きして実施する「キャリア創造のための“実践力強化”を図る」セミナーです。企業をどのように選ぶのか、リーダーシップはなぜ必要か、未知なる課題にどのように立ち向かうか、といったテーマから、企画書の書き方など実践的な内容まで、多岐に富んでいます。社会が求めるトランスファラブルスキルを身につけることができます。

【2022年度実施プログラム(予定)】

	開催時期	テーマ(内容)		開催時期	テーマ(内容)
第1回	4月下旬	だれにも必要リーダーシップ	第5回	6月上旬	基礎研究から新事業への道
第2回	5月中旬	アカデミックキャリアの見つけ方	第6回	6月中旬	未来を生き抜くために必要なこと
第3回	5月下旬	企業の種類と分析	第7回	7月上旬	この内容では企画は通りません!
第4回	5月下旬	折れない心の育て方	第8回	7月中旬	大学院生のためのキラッと輝くエントリーシート

4 連携型博士研究人材総合育成システム (通称：博士人材育成コンソーシアム)

北海道大学を代表機関として、東北大学、名古屋大学とともに平成26(2014)年度にスタートした事業で、本学も2019年度より参加しています(現在12大学が加盟)。このシステムは、企業を知るためのセミナーや企業等との密接なマッチングシステム、データベースなどを通じて、民間企業や研究機関等、アカデミア以外で博士人材が活躍できる場を見出すことを目的としています。大学ごとに特徴あるプログラムが用意されており、文系・理系を問わず、本学の大学院生が参加できるイベントも数多くあります。

6 リサーチプロポーザルコンテスト

自身の研究のアイデアを、いかに魅力的に研究計画書上で表現できるかを競うコンテストです。日本学術振興会特別研究員に申請する前のトレーニングとしても位置付けています。

8 PFF(大学教員準備セミナー)

大学教員として講義を行うにあたって必要となる基本的なスキルを習得するプログラムです。

9 日本学術振興会特別研究員申請・書き方ガイダンス

日本学術振興会特別研究員の制度概要や募集スケジュール、申請書作成のポイントについて学びます。

11 研究倫理プレセミナー／研究倫理共通セミナー

研究を進めるにあたって知っておかなければならない研究倫理に関する基礎知識の習得を目指します。

12 英語力向上支援プログラム

英語のオンライン学習ツールの無償提供や個別学習支援、TOEIC®L&R公式試験受験料補助制度、オンライン英語論文個別指導があります。

2 大学院生のためのセルフブランディングセミナー

主に博士課程前期課程1回生を対象に、自分自身を見つめ、大学院で何を学ぶのか、自分自身をいかにブランディングするのかについて考えるセミナーです。セミナーを通して、他者との違いを感じながら、自分の幸せ、大切にしたいことを探し、自分自身の魅力を高めていきます。

3 博士と企業のマッチングセミナー

主に、企業への就職をめざす博士課程後期課程大学院生を対象に、学生と企業が直接交流する中で、就職への道筋をつけることを目的としたセミナーです。企業がどのように博士を採用しているのか、就職後の働き方など、企業の方から直接お話を聞くことができます。

■プロジェクト・ゼミナール

SDGsの中から、グループで1つの課題を選択し、その解決策を検討するPBL(課題解決型学習)を行います。PBLを通じて、議論の進め方を学ぶとともに、主体性、チームワーク力、リーダーシップ、課題設定・解決力等を育成します。また、解決策は高校生に発表し、投票してもらいます。いかに高校生にわかりやすく発表ができるか、プレゼンテーション能力も磨くことができます。さらに、このPBLには博士課程後期課程学生であるNEXTフェローシップ・プログラム生も参加します。後期課程学生から学ぶことも多く、お互いを高めあうことができます。

■イノベーション・ゼミナール

企業から課題をもらい、グループでその解決策を検討し、提案するゼミナールです。実社会に必要なイノベーションの意味を知り、研究面、ビジネス面でいかに活用すればいいのか、デザイン志向やタイムマネジメントなど実社会が必要とされる力を身につけます。

大学院生の進路・就職

大学院修了後のキャリアは、大学教員をはじめとする研究者だけでなく、民間企業を中心に様々な業界へと広がっています。

CHECK IT

◇大学院修了生の進路実現に向けて

本学では、大学院生の皆さんの希望する進路・就職の実現に向けた総合的な支援を行っています。研究活動と修了後の進路を並行して考えるためのガイダンスでは、就職活動の流れや、企業が大学院生に期待することをはじめ、キャリアセンターの支援内容などをお伝えします。

また、インターンシップや就職活動に向けた自己理解系・企業理解系の各種選考対策も行っています。他にも、留学生や公務員を目指す方に向けた支援企画も実施しています。

■大学院生就職決定率 **97.6%**（2020年度 修士・博士課程前期課程修了者実績）

文系	全体	94.4%	理系	全体	99.0%	テクノロジー・マネジメント研究科 (文理融合)	全体	97.1%
	男子	95.0%		男子	98.9%		男子	96.3%
	女子	93.8%		女子	100.0%		女子	100.0%

◇進路に応じた支援を受けることができます ※下記は2022年度の内容です。

個別相談 (キャリアセンター)	PFF (大学教員準備セミナー)	公務員、資格取得	博士と企業の マッチングセミナー
修士・博士課程前期課程大学院生のうち、主に民間就職や公務員志望の方に向けて、就職活動や公務員試験に関する様々な相談に応じています。	大学で授業を行うにあたって必要となる基礎的なスキルを習得するプログラムです。教育開発推進機構の実践的FDプログラムと連携して実施します。	エクステンションセンターでは、公務員試験や資格取得に向けた各種講座の開講や学生の学習支援を行っています。 ＊キャリアセンター内にあります。	博士課程後期課程大学院生と企業が直接交流する中で、就職への道筋をつけることを目的としたセミナー。自身の研究力や持てる力をアピールするチャンスです。

修了生の主な就職先

法学研究科

国内外の大学教員、民間企業や金融機関の法務部や財務部、公務員、司法書士・税理士・公認会計士・弁理士など、法学・政治学に関する高度な専門知識を必須とする職業分野において活躍しています。

進路・就職先/研究職：私立大学・国公立大学、海外大学など 民間：メーカー、金融機関の法務部門や税理士法人など 公務員：国家公務員、国税専門官、法務省専門職員など

社会学研究科

社会的に要請される実践的課題にこたえる研究者や高度専門職業人として幅広い分野で活躍しています。

進路・就職先/社会福祉協議会・地方公務員・教員など 民間：マスコミ・サービス・流通・商事など 研究職：私立大学・国公立大学など

国際関係研究科

企業の総合職（主に国際部門）、マスコミ各社（新聞、放送、出版）、シンクタンク、国際機関職員、各国政府系機関へ修了者を輩出しています。

進路・就職先/国家公務員・国際協力機構・日本貿易振興機構など 民間：サービス・製造・マスコミなど 研究職：私立大学・国公立大学など

文学研究科

中学・高等学校教員、高度専門職職員、公務員、民間企業社員など、各専修の独自性を活かしたさまざまな職に就き活躍しています。

進路・就職先/教員・地方公務員など 民間：サービス・流通・商事・マスコミなど 研究職：私立大学・国公立大学など

映像研究科

映像に関わる高い専門性を修得し、広い視野から自らの課題を捉え、多様化する映像関連分野に柔軟に取り組んでいくことの出来る力を身につけます。

進路・就職先/民間：マスコミ、サービスなど
進路・就職先詳細は31ページに記載しています。

言語教育情報研究科

言語に関わる専門的知識を活かして、教育関連を中心に幅広い分野で活躍しています。

進路・就職先/国内外の大学教員、中等教育機関の英語教員、日本語教員など。国際交流基金、国際協力機構などの団体。サービス・製造・流通等の民間企業など。

先端総合学術研究科

研究者養成の研究科。博士号を取得、研究者として、あるいは現役研究者がさらにキャリアアップし、様々なフィールドで活躍しています。

進路・就職先/研究職：大学教員（テニュア教員、任期制教員）、大学・研究機関の研究員、各種学校教員、公務員・団体職員など

経済学研究科

大学教員等の研究者の道を目指す大学院生のほか、企業や公務員、税理士事務所などに就職する大学院生も増えています。

進路・就職先/地方公務員など 民間：税理士法人・金融・サービスなど

スポーツ健康科学研究科

「スポーツ」と「健康」に関する高度な専門性を活かして、幅広いフィールドで活躍しています。

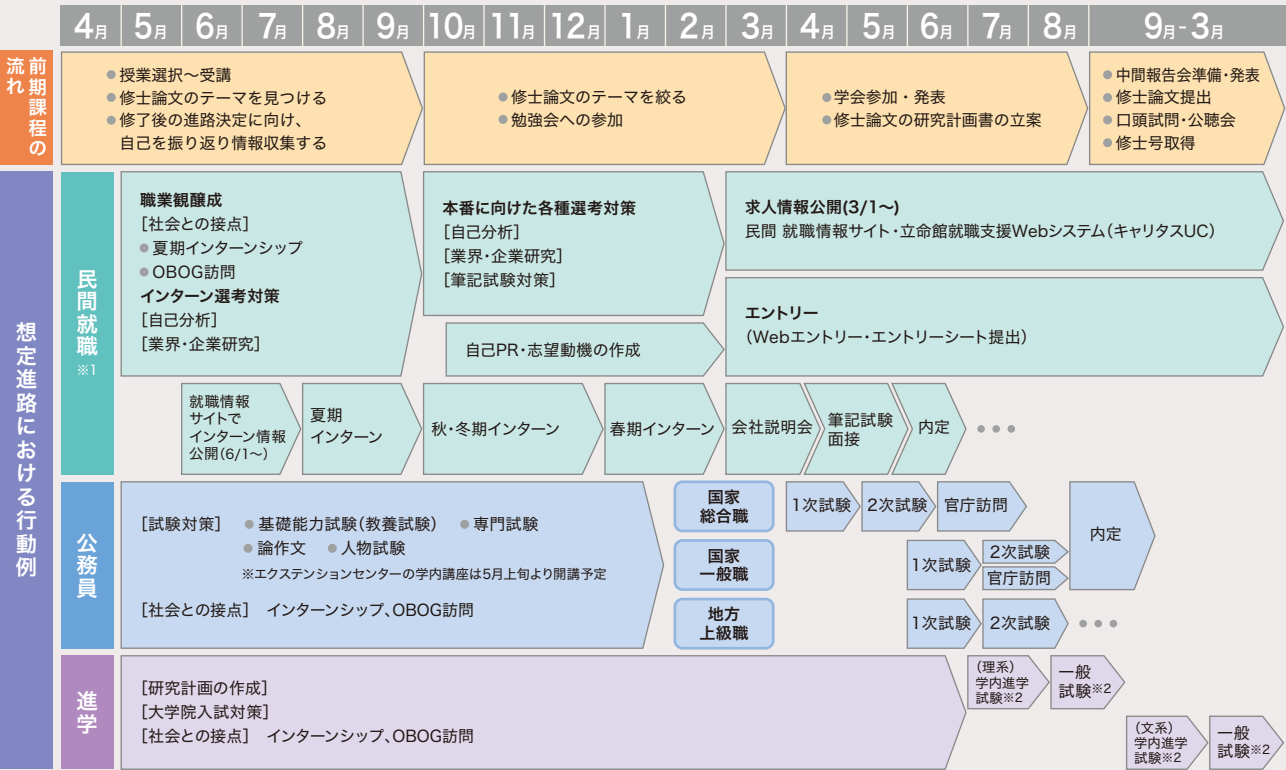
進路・就職先/国立の研究機関、スポーツ用品、食品メーカー、教員など
進路・就職実績は35ページに記載しています。

理工学研究科

高度な専門知識・技術を活かして、多くの修了生が「研究・設計・開発職」に従事しています。

進路・就職先/民間：製造・サービス・流通・商事など
進路・就職実績は37ページに記載しています。

◇修士・博士課程前期課程における進路別スケジュール（例）



※1：政府「就職・採用日程に関する関係省庁連絡会議」によるスケジュールに基づく場合 ※2：入試時期は、研究科によって異なります

法学研究科

国内外の大学教員、民間企業や金融機関の法務部や財務部、公務員、司法書士・税理士・公認会計士・弁理士など、法学・政治学に関する高度な専門知識を必須とする職業分野において活躍しています。

進路・就職先/研究職：私立大学・国公立大学、海外大学など 民間：メーカー、金融機関の法務部門や税理士法人など 公務員：国家公務員、国税専門官、法務省専門職員など

社会学研究科

社会的に要請される実践的課題にこたえる研究者や高度専門職業人として幅広い分野で活躍しています。

進路・就職先/社会福祉協議会・地方公務員・教員など 民間：マスコミ・サービス・流通・商事など 研究職：私立大学・国公立大学など

国際関係研究科

企業の総合職（主に国際部門）、マスコミ各社（新聞、放送、出版）、シンクタンク、国際機関職員、各国政府系機関へ修了者を輩出しています。

進路・就職先/国家公務員・国際協力機構・日本貿易振興機構など 民間：サービス・製造・マスコミなど 研究職：私立大学・国公立大学など

文学研究科

中学・高等学校教員、高度専門職職員、公務員、民間企業社員など、各専修の独自性を活かしたさまざまな職に就き活躍しています。

進路・就職先/教員・地方公務員など 民間：サービス・流通・商事・マスコミなど 研究職：私立大学・国公立大学など

映像研究科

映像に関わる高い専門性を修得し、広い視野から自らの課題を捉え、多様化する映像関連分野に柔軟に取り組んでいくことの出来る力を身につけます。

進路・就職先/民間：マスコミ、サービスなど
進路・就職先詳細は31ページに記載しています。

情報理工学研究科

社会を支えるIT技術・サービスを開発する役割が期待されており、幅広い業種で技術専門職や研究開発職として高度な人材が求められています。

進路・就職先/IT関連企業をはじめ、情報通信、Webサービス、総合電機、電子機器、自動車関連、医療機器、流通、金融、ゲーム、公務など

生命科学研究科

化学、エネルギー、環境、食料、情報、医療、健康分野といった幅広い分野で活躍しています。

進路・就職先/民間：製造・サービス・流通・商事など
進路・就職実績は39ページに記載しています。

薬学研究科

高度な知識や技能を活かして医療現場や創薬・製薬分野、教育機関、産業界、衛生行政等に貢献できる人材を養成しています。

進路・就職先/製薬・化学・食品メーカー、病院、大学教員など

経営学研究科

大学教員・シンクタンクなどの研究者や、公認会計士などで活躍しています。

進路・就職先/民間：監査法人・税理士法人・サービス・流通・商事・製造など

政策科学研究科

行政や研究機関をはじめ、幅広い領域の専門性を活かし、多様な分野で活躍しています。

進路・就職先/国家公務員・地方公務員・教員 民間：サービス・金融 研究職：私立大学・国公立大学、海外大学など

人間科学研究科

各領域のスペシャリストを養成しています。

進路・就職先/臨床心理学領域：臨床心理士、産業・スクールカウンセラーなど 心理学領域：司法、警察官、教育など 実践人間科学領域：看護師、保健師、高齢者介護、障がい者援助など

テクノロジー・マネジメント研究科

サービス・製造ほか職種を問わず、新規事業の立ち上げ、新技術の創造、技術を利用した収益向上など企業の持続的発展に欠かせない分野で活躍しています。

進路・就職先/新製品・サービス企画、工程管理、技術営業、一般営業コンサルティングなど

経営管理研究科

キャリアアップを目指す社会人、実践的知識を身に付けることでキャリアの開拓を目指す新卒者など、修了後は多様な分野でビジネスを創造するリーダーとして活躍しています。

進路・就職先/製造、コンサルティング、サービス、金融など

法務研究科

司法試験合格を経て法曹（弁護士・裁判官・検察官）を目指します。それ以外に民間企業（法務部門）や公務員でも活躍の場があります。

進路・就職先/弁護士・裁判官・検察官・民間企業（法務部門）・裁判所事務官・国家公務員・地方公務員

教職研究科

学校現場の多様な課題に高度な実践力で対応できる資質能力を獲得し、公立、私立の学校で教員として活躍しています。

進路・就職先/小学校・中学校・高等学校教員

データで見る立命館の研究力

■民間企業からの受託研究実施件数

文部科学省では毎年、「大学等における産学連携等実施状況について」を発表しており、立命館大学は「民間企業からの受託研究実施件数」においてここ数年、常に上位に位置しています。

この発表は、文部科学省が産学連携等施策の企画・立案に反映させることを目的として毎年実施している「大学等における産学連携等の実施状況調査」に基づくもので、全国の大学等（2020年度においては1,068機関（国公私立大学（短期大学含む）、国公私立高等専門学校、大学共同利用機関））が対象となっています。

1995年に全国の大学に先駆けて産学連携の窓口「リエゾンオフィス」を設置した本大学では、研究成果による社会貢献として、立命館大学研究高度化中期計画*の策定元年となる2006年度から一貫して産学連携を重要な柱として掲げており、特に京都府・滋賀県・大阪府を中心とした地元企業との連携を重視しています。2019年度の同実施状況の発表では、「同一県内企業及び地方公共団体との共同・受託研究実施件数（地方別）」において、近畿地方の私立大学としては1位となっています。

立命館大学研究高度化中期計画の各施策の推進などにより研究支援制度の充実を図り、外部資金獲得につながる成果の創出や研究拠点形成に取り組んできた結果、とりわけ民間企業からの受託研究実施件数に関しては、過年度からの高い実績につながっているとと言えます。

*研究を高いレベルで推進するために本大学が2006年度より独自に策定している5か年計画。

受託研究とは：企業等からの研究テーマに基づき本大学の研究者が研究を実施し、成果を委託者に報告する制度。

共同研究とは：企業等と本大学の研究者が共通の研究テーマを持ち、研究業務を分担し、あるいは本大学に企業等の研究員を受入れて実施する制度。

■民間企業からの受託研究実施件数（全国順位と過年度の実績）（2019年度）

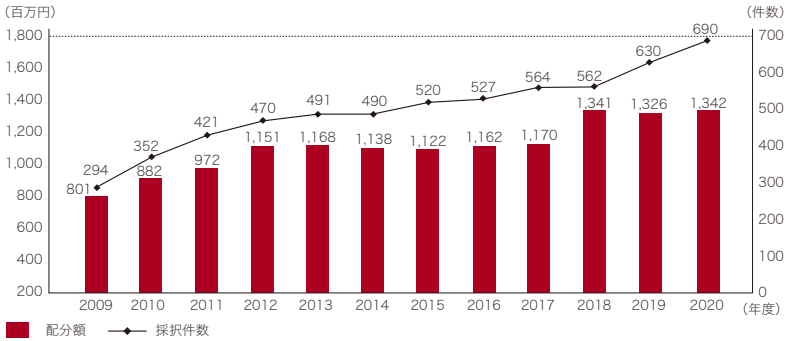
機関名	件数	区分*
1位 近畿大学	323	私
2位 立命館大学	259	私
3位 早稲田大学	212	私
4位 慶應義塾大学	205	私
5位 日本大学	190	私
6位 山形大学	186	国
7位 大阪大学	164	国
7位 拓殖大学	164	私
9位 東京大学	154	国
10位 順天堂大学	129	私

■科学研究費助成事業 ―科研費―

立命館大学は、2020年12月に発表された「令和2年度科学研究費助成事業－科研費－の配分」において配分額、採択件数ともに私大3位（西日本私大1位）となりました。全国では、配分額は23位、採択件数は21位となっています。また、6年連続11億円台であった配分額も3年連続13億円を突破しています。審査区分別（中区分別採択件数上位10機関 ※過去3年間の新規採択の累計数）では、10区分が全国10位内にランクインし「社会学およびその関連分野」が最高位の全国2位、「地理学、文化人類学、民俗学およびその関連分野」「社会学およびその関連分野」「人間情報学およびその関連分野」、「環境保全対策およびその関連分野」で私大1位となり、多様な分野で本大学の強みを活かした独創的・先駆的な研究を進めています。また、採択件数に占める女性研究者のシェア（女性比率）も増加して25.4%となり、女性研究者の採択実績の伸びが顕著であることも本大学の特徴です。

科学研究費助成事業（科研費）とは：科学研究費助成事業とは、文部科学省の競争的研究資金のひとつであり、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる研究を助成する制度で、年間予算は2,000億円を超え、我が国の科学技術の発展には欠かせない重要な研究費です。

〈本学の配分額・採択件数の推移〉



研究・産学官連携についての詳細は

[立命館 研究](#)

[検 索](#)

■同一県内企業及び地方公共団体との共同・受託研究実施件数、受入額（地方別）（2019年度 近畿地方）

機関名	件数	受入額（千円）	所在地	区分*
1位 大阪大学	406	2,791,232	（大阪府）	国
2位 京都大学	191	722,774	（京都府）	国
3位 立命館大学	176	177,249	（京都府）	私
4位 近畿大学	168	131,293	（大阪府）	私
5位 神戸大学	155	282,690	（兵庫県）	国

*区分 私：私立大学、公：公立大学、国：国立大学

※文部科学省「大学等における産学連携等実施状況について」より作成

〈科研費ランキング〉

■配分額

1位 慶應義塾大学
2位 早稲田大学
3位 立命館大学
4位 順天堂大学
5位 東京理科大学
6位 日本大学
7位 近畿大学
8位 同志社大学
9位 東海大学
10位 明治大学

※2020年度配分額・採択件数（いずれも新規+継続）私立大学のみ

■審査区分別の状況（中区分別採択件数上位10機関 ※過去3年間の新規採択の累計数）においてランクインした中区分

「思想、芸術およびその関連分野」、「文学、言語学およびその関連分野」、「地理学、文化人類学、民俗学およびその関連分野」、「法学およびその関連分野」、「政治学およびその関連分野」、「経済学、経営学およびその関連分野」、「社会学およびその関連分野」、「機械力学、ロボティクスおよびその関連分野」、「人間情報学およびその関連分野」、「環境保全対策およびその関連分野」

※文部科学省発表「令和2年度科学研究費助成事業の配分について」（2020年12月25日）より抜粋

■採択件数

1位 慶應義塾大学
2位 早稲田大学
3位 立命館大学
4位 日本大学
5位 順天堂大学
6位 近畿大学
7位 東京理科大学
8位 東海大学
9位 同志社大学
10位 北里大学

研究機構・研究所・研究センター

立命館大学では、研究機構による最先端の取り組みが展開されています。

その成果は社会貢献のために活用されるとともに、大学院の研究・教育に還元され、高度な研究につながっています。

人文・社会・自然科学各領域の研究を推進するために多彩な研究機構を設置し、

基礎から応用まで幅広い活動を展開しています。

また、国や地方公共団体、産業界との研究交流にも積極的に取り組み、成果を社会に還元しています。

※以下は、2022年4月1日現在の研究機構・研究所・研究センター

■立命館グローバル・イノベーション研究機構[R-GIRO]

R-GIROは、学長直轄の研究組織で、「政策的重点課題に特化した研究拠点の形成」および「次世代を担う若手研究者の育成の強化」を目的に2008年に設立されました。自然共生型社会の実現に向け、自然科学分野と人文学・社会科学分野との融合を図り、学際的研究活動を促進することで、価値ある研究成果を創出し、その成果の積極的発信により、次世代社会への貢献を果たすことを目的としています。

■立命館アジア・日本研究機構

立命館アジア・日本研究機構は学長直轄の研究組織で、「『アジア・日本研究』をリードする研究者の育成および未来のアジア・日本についての共通ビジョンの形成」をミッションとし、「アジアの時代」に資する立命館らしいコンセプトと戦略性を兼ね備えた研究を推進しています。国内外の研究機関と連携し、多様な研究ネットワークの中核としての機能を発揮しながらグローバルな視点でのアジア・日本研究を推進していくことを目的としています。直下のアジア・日本研究所では、「共生」「共創」「協働」をキーワードとした総合的実践研究に取り組み、プロジェクトごとに研究活動と成果発信を進めています。

■アジア・日本研究所

■衣笠総合研究機構

衣笠総合研究機構は1998年に設置され、研究所・研究センターをマネジメントする研究機構として研究活動を支えています。「自主」「民主」「公開」「平和利用」といった4つの原則のもと、人類の福祉と社会の進歩に貢献し、社会の要請に応えることを目的としています。

■人文科学研究所 ■国際地域研究所 ■国際言語文化研究所

■人間科学研究所 ■アート・リサーチセンター ■歴史都市防災研究所

■白川静記念東洋文字文化研究所 ■生存学研究所

■研究センター コリア研究センター／間文化現象学研究センター／ゲーム研究センター／環太平洋文明研究センター／加藤周一現代思想研究センター／金融ジェロントロジー／金融・法教育研究センター／地域健康社会学研究センター／クリエイティブ・メディア研究センター／中東・イスラーム研究センター／東アジア平和協力研究センター

■BKC 社系研究機構

BKC社系研究機構は1998年、人文社会科学分野における企業・自治体等との共同研究を推進すること、自然科学系分野との交流による学際的研究を促進することをめざし設置されました。社会性、国際性、公開性、学際性を重視した活動を行うことで、学術文化の発展と人類の福祉に貢献することを目的としています。

■社会システム研究所

■研究センター ファイナンス研究センター／食総合研究センター

■総合科学技術研究機構

総合科学技術研究機構は、科学技術の発展と地域社会に貢献するために1994年に「総合理工学研究機構」として設置されました（2012年度より、現名称に改称）。産学官の共同研究の推進を通して、科学技術の発展と地域社会に貢献することを目的としています。

■理工学研究所 ■SRセンター ■VLSIセンター

■研究センター 防災フロンティア研究センター／バイオメディカルエンジニアリング研究センター／琵琶湖・環境イノベーション研究センター／創薬科学研究センター／スポーツ健康科学研究センター／ロボティクス研究センター／エネルギーイノベーション材料研究センター／古気候学研究センター／先端ICTメディカル・ヘルスケア研究センター／システム視覚科学研究センター／生物資源研究センター／環境テクノロジー・マネジメント研究センター／知能化社会デザイン研究センター／IoTセキュリティ研究センター

■OIC 総合研究機構

大阪いばらきキャンパス（OIC）の教学コンセプト「アジアのゲートウェイ」「地域・社会連携」「都市共創」をふまえ、グローバルに通用する人材の育成、新たなイノベーションの創出、地域コミュニティの中核的存在としてその機能を果たす研究機構を目指し、活動することを目的としています。

■地域情報研究所

■研究センター 医療介護経営研究センター／デザイン科学研究センター／グローバルMOT研究センター／稲盛経営哲学研究センター／サステイナビリティ学研究センター／認知科学研究センター／ものづくり質的研究センター

topics

研究活動報 RADIANT

<http://www.ritsumei.ac.jp/research/radiant/>



立命館大学における研究活動を広く紹介しています。



Twitter

立命館大学研究部 | [@Rits_ResearchPR](#)



立命館大学研究部公式Twitter。立命館の「研究」をもっと身近に感じてもらえるよう、多様な研究者の研究活動やイベントを紹介しています。

国際交流・留学生サポート

■外国人留学生(大学院)国・地域別一覧

国・地域	人数	国・地域	人数	国・地域	人数
アジア		南北アメリカ		オセアニア	
1: 中国	761	1: アメリカ	12	1: パナマツ	1
2: インドネシア	36	2: コロンビア	1	小計(オセアニア)	1
3: 韓国	26	3: チリ	1	中東	
4: ベトナム	21	4: ペルー	1	1: アフガニスタン	7
5: 台湾	20	5: ホンジュラス	1	2: サウジアラビア	2
6: インド	16	小計(南北アメリカ)	16	3: トルコ	2
7: バングラデシュ	13	ヨーロッパ		小計(中東)	11
8: タイ	10	1: キルギス	10	1: エジプト	4
9: ミャンマー	10	2: ハンガリー	2	2: ナイジェリア	3
10: パキスタン	6	3: ブルガリア	2	3: ガーナ	3
11: ラオス	6	4: イギリス	1	4: ウガンダ	1
12: ネパール	5	5: ドイツ	1	5: 南アフリカ	1
13: カンボジア	4	6: ロシア	1	6: コートジボワール	1
14: ブータン	4	7: フランス	1	7: ザンビア	1
15: フィリピン	3	8: イタリア	1	8: ジンバブエ	1
16: 香港	2	9: チェコ	1	9: セネガル	1
17: マカオ	2	10: ウクライナ	1	10: ソマリア	1
18: マレーシア	1	11: オランダ	1	11: モザンビーク	1
19: モンゴル	1	12: スペイン	1	小計(アフリカ)	18
20: タジキスタン	1	13: スロベニア	1	合計	1,018
小計(アジア)	948	小計(ヨーロッパ)	24	(2021年5月1日現在)	

※在留資格「留学」を取得または取得見込みの学生を計上。

大学院在籍者のうち、
外国人留学生の割合

27.7%
1,018名

外国人留学生
受入数の多い大学

第1位
関西の大学中※

※2020(令和2)年度外国人留学生在籍状況調査結果
〔独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)〕

■世界各国の大学院生と学ぶ

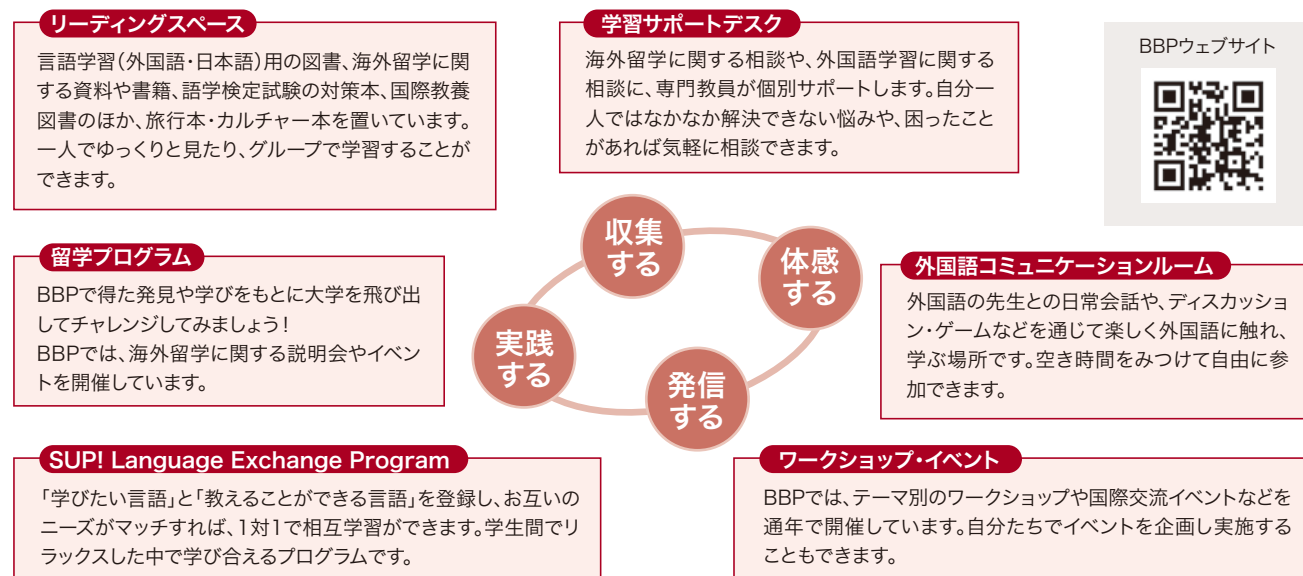
53の 国・地域から集まる留学生

立命館大学の特徴は「多様性」という言葉に集約されます。立命館大学には世界の多様な国・地域から大学院生が集まり、日々勉学や研究に励んでいます。異なる文化や価値観の人とともに学び、グローバル人材に必要な素養をさらに磨くことのできる環境があります。

■Beyond Borders Plaza (BBP)

2018年4月、衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス、大阪いばらきキャンパスにBeyond Borders Plaza (BBP)を開設しました。BBPは、国境の壁、文化の壁、言葉の壁、価値観の壁など、様々なBorderを超えてつながりを生み出し、共に学ぶ、国際交流や言語学習をコンセプトにした空間です。様々な言語学習用図書や、国際教養図書、雑誌などを通じて、楽しみながらグローバルな素養を高めたり、様々な国際交流イベントにも参加することができます。(2021年度は新型コロナウイルスの影響でオンライン開催)

BBPでは何ができるの？



留学生サポート

■授業料減免制度

- 本学独自の減免制度です。
- 内容は2022年度の概要であり、2023年度に内容が変更となる場合もあります。最新の情報や詳細は本学ウェブサイト、募集要項等を参照してください。

対象:外国人留学生

種別	減免率	減免期間	対象者
外国人留学生授業料減免(院生I種)	授業料の100%	標準修業年限 ^{※1}	在留資格が「留学」かつ私費外国人留学生であること。対象者は入学試験にて決定
外国人留学生授業料減免(院生II種)	授業料の20%	1年間 ^{※2}	在留資格が「留学」かつ正規課程の私費外国人留学生である場合は 全員対象 。各自で入学後に申請が必要

※1 一貫制博士課程の1年次入学については4学期間、3年次入学については6学期間を上限とします。

※2 毎年の申請により、標準修業年限を上限として減免を受けることができます(全員対象)。

■留学生支援コーディネーター

国際教育センターに常駐し、留学生からの学生生活の様々な相談に対応します。

留学生支援コーディネーターは、まず留学生の相談内容を把握し、必要に応じて学内外の適切な機関と連携していきます。

- 【相談事例】**
- ・授業がわからない、単位がとれない**【正課に関わること】**
 - ・慣れない日本での生活に困ることがある
 - ・友達ができない、人間関係がうまくいかない、体調が優れない、時間管理がうまくいかないなど**【人間関係、生活や健康に関わること】**
 - ・課外活動に参加したい、課外活動やアルバイトとの両立について**【課外に関わること】**
 - ・事件や事故、トラブルについて**【緊急性のあること】**
 - ・不安や悩みを誰に相談したらよいかわからないなど

■進路・就職

外国人留学生のみなさんが、卒業後、日本の企業で働くことを視野に入れている場合、大学院1回生の時から進路・就職について考えていく必要があります。日本の就職活動システムは独特で、日本の企業に就職した先輩たちは、在学中の早くから大学から提供している進路・就職支援企画を有意義に活用しています。キャリアセンターでは、日本での就職を希望する留学生のために充実したサポートを提供していますので、安心して進路選択や就職活動に取り組むことができます。

●立命館大学キャリアセンターの留学生向け支援

日本での就職を希望する留学生の方を対象に日本就職ガイダンスや学内での企業説明会・選考会、留学生の先輩による就職相談会、エントリーシートの書き方講座等、年間を通じて様々な企画を実施しています。各種支援はオンラインを中心に開催しています。

詳細はこちら **立命館大学キャリアセンターウェブサイト**
<http://www.ritsumeit.ac.jp/career/>

・留学生担当スタッフへの相談

各キャンパスのキャリアセンターには留学生担当のスタッフがおり、いつでも相談を受け付けています。

■よくある質問

Q.日本語または英語の力はどのぐらい必要ですか

A.希望する研究科、入学試験方式によって異なりますが、希望する指導言語で大学院の授業を理解できる程度の力は必要です。詳しい条件は、各研究科の入学試験要項で確認できます。

●日本企業就職先例

(株)カプコン、ソニー(株)、ソフトバンク(株)、東映(株)、日産自動車(株)、日本電気(株)(NEC)、日本電信電話(株)(NTT)、(株)日立製作所、本田技研工業(株)、ヤフー(株)



「日本就職を希望する留学生のためのES作成講座」

Q.日本での受験が必ず必要ですか？

A.研究科や入学試験方式によっては、書類選考のみで合否を決定するなど、試験のための来日が必要ない場合があります。詳しい選考方法は入学試験要項で確認できます。

日本留学AWARDS
—日本語学校の教職員が選ぶ留学生に勤めたい進学先—

私立大学理工系部門(西日本)で大賞を受賞!
私立大学文科系部門(西日本)でも入賞!



(例)

年次授業料 75万円

→

授業料**20%減免**
(15万円減)

年次授業料 60万円

社会人のみなさんへ

立命館大学大学院では、学位取得、仕事に直結する専門知識の習得、生涯学習など、様々な目的をもった多くの社会人学生がともに学び、研究されています。

ご紹介している制度の詳細については研究科により異なりますので、詳細は各研究科へお問合せください。

社会人入学試験

以下の研究科では、社会人を対象に募集をおこなう社会人入学試験を実施しています。

実施研究科		
法学	社会学	文学
言語教育情報	先端総合学術	経済学
スポーツ健康科学	食マネジメント	理工学
情報理工学	生命科学	薬学
政策科学	人間科学	テクノロジー・マネジメント
経営管理	教職	

※課程や年度により、実施しないことがあります。詳細は各研究科の入学試験要項を確認してください。
※上記以外の研究科でも、一般入学試験等で社会人の受験が可能です。

長期履修制度

在学中に職業を有することにより、学習・研究時間を十分に取ることが出来ず標準修業年限で修了することが困難な場合、標準修業年限を超え、在学年限（4年）の範囲内の期間において計画的に教育課程を履修することを目的とした制度です。

博士課程前期課程・修士課程・専門職学位課程に入学する方を対象に、入学試験の出願時※に申請を受け付けています。

※教職研究科を除く

実施研究科		
文学	言語教育情報	経済学
スポーツ健康科学	食マネジメント	政策科学
人間科学	経営管理	教職

科目等履修生制度

大学院に入学せずに授業を履修し、所定の要件を満たすと単位を修得できる制度です。修得した単位は、本学大学院の正規課程へ入学した場合に、入学後の単位として認定することがあります（認定する単位数には上限あり）。

子育てと大学院生活の両立をサポートする保育園

立命館みらい保育園WEBサイト
http://www.ritsumei.ac.jp/rnrnursery/



2018年9月に衣笠キャンパスおよびびわこ・くさつキャンパスに開園しました。
保護者のうちどちらかが立命館大学の大学院生であれば利用を申請することが可能で、研究・就学と育児の両立を頑張る保護者の方をサポートしています。
大学暦にあわせての土日祝開講日の開園や、通常保育は午後7時まで（延長保育は午後8時まで）など利用時間も幅広く、授業や研究に多忙な大学院生でも利用しやすい環境を整えています。

★常時保育のほか、学業・研究に専念したい時間帯にお預かりする一時保育も実施しています。

立命館みらい保育園きぬがさ
（委託先：社会福祉法人京都保育センター）



立命館みらい保育園びわこ
（委託先：株式会社ポピンズ）



サテライトキャンパス（大阪梅田キャンパス）

大阪梅田キャンパスWEBサイト
http://www.ritsumei.ac.jp/osakaumedacampus/



アクセス至便な立地で、多数の社会人が受講しています。

開講研究科

経営管理研究科[ビジネススクール]
テクノロジー・マネジメント研究科
言語教育情報研究科

演習室



自習室



PCと 프로젝터를常設した教室やプロジェクトルームなど、多目的に利用できる最新設備が整っています。
キャレルデスクを配置した自習室も備えています。

社会人院生インタビュー（経営管理研究科／ビジネススクール）



田岡 知夏さん

2014年 A社へ入社、商品開発部へ配属
2016年 マーケティング部門へ異動
2018年 立命館大学RBS入学
2020年 立命館大学RBS修了
2020年 サンスター株式会社へ転職、マーケティング部でプロモーション業務に従事

田岡さんの時間割（イメージ）

※経営管理研究科は2時限連続授業を実施

平日夜間	6・7時限
土曜日・日曜日	1・2時限／3・4時限／5・6時限

■授業時間

平日（月～金）	6・7時限	18:30～21:30
土曜日・日曜日	1・2時限	9:10～12:10
	3・4時限	13:20～16:20
	5・6時限	16:50～19:50

■田岡さんの履修例（1年目～2年目前半期まで）

	月	火	水	木	金	土	日
午前						授業	
午後	授業					授業	

- 平日1つ／土日2つ、週に3つを基本に受講。
- 2年目の下半期は、ゼミで課題研究に集中。

RBS（立命館大学ビジネススクール）進学のかっけは？

工学部を卒業後、新卒で入社した企業では商品開発部に配属され、設計業務を行っていましたが、2年ほど経ってようやく慣れてきたころに、想定もしていなかったマーケティング部門へ異動になりました。そこでの仕事は、市場調査や広告・販売促進など、専門的な業務内容が多く、日々悪戦苦闘していましたが、そんな中で少しでも必要な知識を得られたらよいなと考えRBSセミナーに申し込んだことが、RBSに関わったきっかけでした。梅田にキャンパスがあり、平日の仕事のあとでも無理なく通えると思いました。セミナーに参加してみると、内容はもちろん、企業内だけでは出会えない多様なメンバーとの交流もとても面白く、「この環境でもっと勉強したい」と科目等履修もスタート。履修を重ねるうち、大学院進学が自然と視野に入ってきました。

どのように仕事と大学院を両立しましたか？

科目等履修で先行して単位を修得していたため、授業は平日夜間に1回＋土曜と日曜いずれかに固めて2回の、週3回ほどを目標に履修していきました。
平日は週1回だけなので、仕事の調整もつけやすかったです。どうしても授業を欠席せざるを得ない時もありましたが、そんなときは一緒に学ぶRBS生が授業の内容をフォローしてくれました。業種も職種も年齢もバラバラなメンバーでしたが、仕事と両立して修了できたのは自分一人の力ではなく、ともに頑張るRBS生の協力があったからだと思っています。経済的な側面では、厚生労働省の教育訓練給付を活用して補いました。

RBSを修了した感想を教えてください。

修了後にRBSで専攻していたマーケティングを活かして、キャリアチェンジを行い、今はサンスター株式会社で主に製品のプロモーション業務に従事しています。RBSに通うまでは目の前の自分がやらなければならない仕事をこなすことに必死でしたが、修了後は、会社全体の動きや他部門の苦勞が理解できるようになり、組織全体の最適を考えながら仕事を進められるようになりました。専門知識による確信をもった今は、以前よりも仕事を楽しんでいますし、会社に貢献している実感が持っています。
また、RBSで出会った仲間との交流も続いており、日頃の業務にも活きる広い知見を得られています。社会人になってからRBSで得た知識や経験、仲間は、かけがえのないものです。

大学院進学を迷う社会人の方に、メッセージをお願いします。

大学院進学は大きな決断ですので、なかなか踏み出せないと思います。でも、何もしなければ、私自身も今のキャリアチェンジや、新しいことに取り組んでみようという気持ちにはならなかったと思います。最終的に進学するかどうかは別として、まずは小さな1歩として、興味のある大学院のセミナーや説明会に参加してみたいかがでしょうか。そこから、次にやるべきことが見えてくると思います。

CHECK IT！

教育訓練給付制度（厚生労働省）

働く方々の主体的な能力開発やキャリア形成を支援し、雇用の安定と就職の促進を図ることを目的として、厚生労働大臣が指定する教育訓練を修了した際に、受講費用の一部が支給されるものです。

立命館大学では以下の講座で指定を受けています（2021年度参考）。

名称	金額	募集対象
一般教育訓練	初年度必要経費の20%相当額（上限10万円） ※初年度必要経費 入学金＋授業料（減免奨学金を差し引いた額）	● 以下研究科の博士課程前期課程 法学（一部コースのみ）、社会学、経済学、スポーツ健康科学、政策科学、テクノロジー・マネジメント研究科 ● 言語教育情報、映像、経営学研究科
専門実践教育訓練	① 受講中： 受講者が支払った教育訓練経費の50%相当額（上限40万円／年） ② 受講の修了後： 受講者が支払った教育訓練経費の20%相当額を追加支給	経営管理研究科（経営管理専攻・マネジメントプログラム） ※ ①と②を合わせて 2年間で 最大112万円

支給対象者や要件などの詳細は、以下WEBサイトで紹介しています。

http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/fellow/master/article.html/?id=34





法学研究科
高橋 直人 教授

歴史的・国際的な視点から現在の日本を見つめる

近世・近代のドイツの刑法学がどのように発展し、明治時代以降の日本にどのように継受されたのかを研究しています。たとえば「近代刑法学の父」フォイエルバッハの刑法理論の再検討や、明治期の法律家のドイツ留学および現地での博士学位取得について実態の解明を進めています。今日の日本の刑法を支える基本的な考え方は、とりわけドイツからの強い影響のもとで形成されました。この点からいえば、ドイツの刑法学を歴史的に理解していくことは、日本の刑法学をより良く理解し、現代の法的問題をいっそう幅広い視点から解決するうえで、重要な手がかりにつながります。

底の知れない知の探究がもたらす、研究の「面白さ」

かつてヴィルヘルム・フォン・フンボルトは、大学は「常にいまだ完全には解明されていない問題として学問を取り扱い、それゆえ常に研究のうちにとどまる」と述べました。これまで明らかでなかったことが、次第に見えてくる。そうかと思えば、新たな課題がまた現れてくる。底の知れない知の探究は、研究の「面白さ」の核心をなすものです。その「面白さ」に独りででのめり込むことも時にはあるでしょう。しかし、それ以上に、他の院生や研究者と学び合うことにも積極的に取り組んでください。そこでの経験は人間的な面も含めて自身の成長の糧となり、そこでの人間関係も将来にわたって支えになることがあります。

また大学院では、指導教員や他の研究科教員が、各自の得意分野を活かして院生の研究を支援します。それぞれの教員の高度な「専門性」、「専門家」としての姿(真の姿?)をいっそう実感できることも大学院の研究指導の魅力です。修士論文や博士論文等の「作品」を作ることを通じて、大学院生は、課題を見極め、必要な情報を収集・分析し、論理的に主張し(文章化し)、なおかつその一連の流れを計画的に実施できる力を長時間かけて実践的に磨き上げていきます。この力は汎用性が高く、社会の様々な場面で活用・応用できるものです。



理工学研究科
荒木 努 教授

大学院の魅力は、「挑戦と成長」の継続

私の研究は「半導体」の開発です。半導体は今やもう空気のような存在で、これなくして私たちは生きていくことができません。SDGsに掲げられる世界の誰もが快適に安全に安心して持続的に暮らせる社会の実現には、これからも半導体が様々な分野で必要とされています。例えば、自動走行電気自動車の実現には、周囲情報を精度よく取得するセンサー、情報を認識・判断するAI、そして命令に従いモーターやハンドルを動かす制御装置などが必要で、どれも半導体がその役目を担っています。

自動車、スマートフォン、新型コロナワクチン等々、様々な技術開発が激しい競争の中で進められています。大学を卒業して、社会人として働くということは、その競争の中に身をおくということです。今、こうした競争社会では、高度な専門性を自身の柱に据え、世の中の急激な変化にも創造性豊かに対応できる人材が求められており、大学院がその高度人材育成を担っています。

大学院進学の魅力は、研究活動を通じて、「挑戦と成長」を続けられることです。研究に終わりはありません。目標に向かって計画を立て、実験を繰り返し、うまくいかなければ悩み、考え、行動し、怒られたり、褒められたり。大学院では、修羅場を何度もくぐり抜けることで、専門知識やスキルだけではなく、厳しい社会に出ても活躍できる一皮も二皮もむけた口バスト(頑強、堅牢)さも身につけられます。

大学院での学びは、その後の人生の礎となる

理系の大学院では、多くの学生(院生、卒研生)が研究室に集い、日々活動しています。苦楽をともにして切磋琢磨する同じ研究室の仲間や、学会活動・共同研究などで通じる学外・海外の研究者、同世代の若者達。研究は一人でするものではありません。異分野横断、文理横断といった学際的な視野を広げ、大学院時代だけでなく、将来のキャリアにわたって心の糧となるような豊かなネットワーク形成の機会を積極的に取り入れています。

大学院(修士課程/博士課程前期課程)での2年は、人生100年と言われる今の時代において、ほんの短い時間です。しかしこの間に得られる経験は、社会に出てからの50年以上の人生を支える根っこになるものです。しっかりと根を生やした大樹として育つための時間をぜひ大学院で過ごしてください。

立命館大学大学院 研究科紹介

	法学研究科	27
	社会学研究科	28
	国際関係研究科	29
	文学研究科	30
	映像研究科	31
	言語教育情報研究科	32
	先端総合学術研究科 [5年一貫制博士課程]	33

	経済学研究科	34
	スポーツ健康科学研究科	35
	食マネジメント研究科	36
	理工学研究科	37
	情報理工学研究科	38
	生命科学研究科	39
	薬学研究科	40

	経営学研究科	41
	政策科学研究科	42
	人間科学研究科	43
	テクノロジー・マネジメント研究科	44
	経営管理研究科[ビジネススクール]	45

	法務研究科[法科大学院]	46
	教職研究科[教職大学院]	47

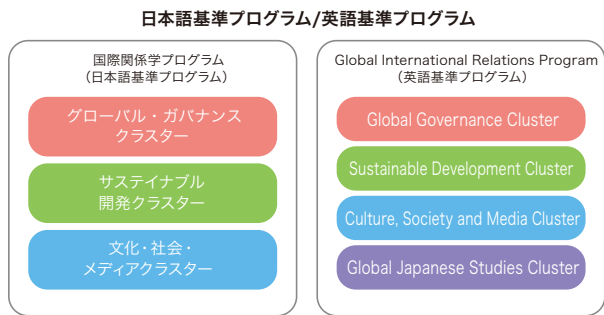
英語プログラムの充実

本研究科の博士課程前期課程は、日本語と英語という学修言語で分かれる2つのプログラムで構成されています。

本研究科の特徴の一つは、ディシプリンに関して、緩やかな研究領域(科目群)を示す役割として、クラスターという概念を用いていることにあります。各クラスターには特徴があります。「サステナブル開発クラスター/Sustainable Development Cluster」は、先進国、途上国における持続可能な繁栄を追求するために、経済理論、経済学というディシプリンと、政策評価や立案に関わる実践系科目をバランスよく学びます。「グローバル・ガバナンスクラスター(Global Governance Cluster)」は、平和と民主主義に関する様々な問題を、グローバルな視点とローカルな視点を重視しつつ、理論と実践を学びます。「文化・社会・メディアクラスター/Culture, Society and Media Cluster)」は、グローバル化という文脈に即しながら、文化理論と社会理論の基礎を学び、メディア・文化研究の主要なアプローチを学びます。「Global Japanese Studies Cluster」は、英語で日本について研究できるという特徴を最大限に生かし、日本研究の基礎から発展まで全て英語で学修し、日本から見た世界を、世界から見た日本を視点にした研究を学びます。

国際関係学プログラム
(日本語で学修するプログラム)

狭義の国際関係学という枠組みを越え、政治、経済、文化・社会・メディアという縦軸に、地域研究という横軸が走り、多様な領域を横断する極めて学際的な研究と教育を指向している点に大きな特徴があります。この学問体系を可視化するものとしてクラスターを用いています。先端的な地域研究の醍醐味と、政治・経済・文化社会メディアの各ディシプリンを横断する学びの魅力に触れてほしいと思います。



Global International
Relations Program
(英語で学修するプログラム)

Global Governance Cluster, Sustainable Development Cluster, Culture, Society and Media Cluster, Global Japanese Studies Cluster という4つのクラスターで構成された幅広いテーマを提供します。これらの科目とともに、東アジア研究、東南アジア研究、欧州研究、アフリカ研究、中東研究を含むさまざまな地域研究を提供します。学生は、21世紀のグローバルな課題を理解するために、専門分野と地域研究の観点をうまく組み合わせた学修を経て、成長することが期待されます。



特徴

1. 1992年開設で歴史ある大学院

多くの国際系大学院がありますが、国際関係学を学ぶ大学院として、西日本で最初に開設されました。

2. 日本語、英語で学位取得可能

日本語、英語 それぞれの言語で構成されたカリキュラムのいずれかが選択可能です。

3. 幅広く多様なディシプリンで形成された国際関係学のカリキュラム

政治、経済/開発、文化・社会・メディアといった幅広いディシプリンで形成された国際関係学のカリキュラムを学ぶことができ、越境する国際諸問題の理解学習に必要な複数のディシプリンによる論文指導を複数指導教員体制の下、受けることができます。

4. 世界各地を網羅した豊富な地域研究の提供▶ダイナミックな国際情勢を学ぶ

北米、中南米、中東、アフリカ、日本、東アジア、東南アジア、南アジア、ヨーロッパまで網羅した科目の提供と論文指導が可能です。

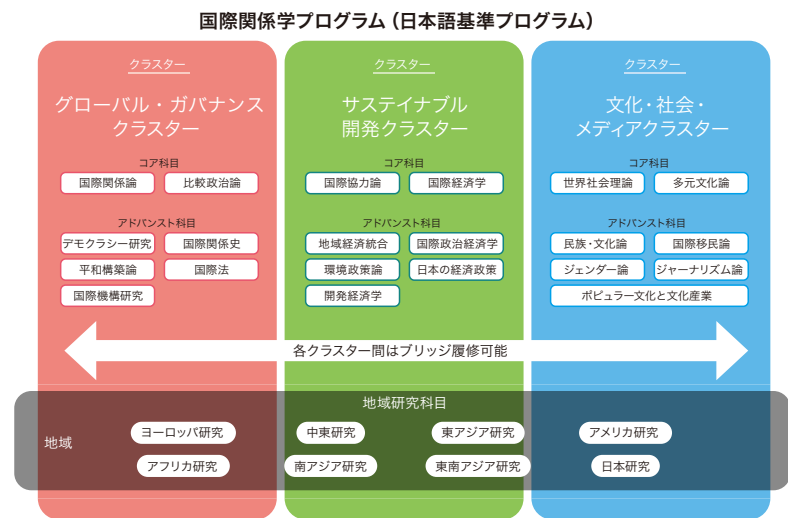
5.国際的な大学院ネットワーク(APSIA)へ、日本唯一の正会員加盟

ハーバード大学、イエール大学を始めとした世界の国際関係学をリードする大学院が集まる、国際的な大学院ネットワーク (APSIA) に日本の大学・大学院の中で唯一正会員として加盟し、国際関係学の教育・研究で日本をリードする存在として世界的に認められています。

6. 将来、国際機関等で働く人材を育成するプログラム

国際機関への進路就職を目指す方を対象に、講義から実務に至るまでの理論と実践の場を提供します。(国際機関セミナー(正課科目)ほか)

クラスターと主な開講科目一覧



※入学者の所属はプログラムのみで、いずれのクラスターで分類される科目も履修することが可能です。
※全ての科目が毎年開講されるものではありませんので、詳しくは入学後のオリエンテーション等で正確な情報をご確認ください。

多様な教育・研究を生み出す2つの専攻、14の専修

文学研究科は人文学専攻と行動文化情報学専攻による、2専攻14専修の体制となっています。伝統的な人文学に加え、情報技術と人文学を融合させたこれまでにない新しい学問分野を展開しています。

人文学専攻	哲学専修	古代ギリシャ哲学から近代哲学、倫理学、社会哲学、現象学、フランス現代思想といった諸分野に専任スタッフを配置し、2600年以上前に始まる「人間とは何か」という課題に取り組みます。
	教育人間学専修	「こころ」の問題を媒介として、教育と人間のかかわりを多角的に考究します。その出発点は、生まれ、育ち、出会いや別れをへて、やがて老い、死にゆく人間の営みに対する驚きと慈しみです。
	日本文学専修	長い歴史に培われた日本の文学作品やことばを通じて、日本文化の特質を探索します。想像力溢れる作品群は、時代を超えて私たちの胸を打ちます。新たな視点で先端的な研究をめざします。
	中国文学・思想専修	悠久の歴史の中ではぐくまれ、東アジアの文化に大きな影響力をもつ中国の文学や思想に関する高い識見を養い、そこに存在する興味深い問題について清新な研究を展開します。
	英米文学専修	英米を中心とする英語文学・文化を広く深くカバーする専門分野の教員が指導に当たり、高度な英語力や分析力を養います。研究職はもとより、英語力が要求される多様な職場への就職が考えられます。
	日本史学専修	古代から現代に至る各時代のスペシャリストが、伝統ある「立命史学」に立脚した新たな歴史学を構築します。全国各地で教員・学芸員として活躍する先輩たちとのネットワークも充実しています。
	東洋史学専修	中国を中心とする東アジア世界を、その起源に遡って研究します。そのための方法としての原典読解は、昨今の東アジア諸地域におけるダイナミックな動きの原点を探る上で有益でしょう。
	西洋史学専修	古代～現代の西欧・東欧における政治史、文化史、社会史など広い領域にわたる教員スタッフが、専門の垣根を越えて研究を発展・深化できるように、協働しています。
	文化動態学専修 【博士課程前期課程のみの募集】	比較文化論、言語学、歴史学、美術史、現代芸術批評、音楽文化論、社会思想史、文化人類学等の専門領域を横断しながら文化のダイナミズムに取り組める専修です。
	現代東アジア言語・文化学専修	中国（台湾・香港などを含む）・朝鮮半島を領域とし、そこにおける言語・現代文化・現代史を教学分野として、中国語・朝鮮語の実践的なコミュニケーション能力を身につけた、グローバルな東アジア人を育成します。
行動文化情報学専攻	英語圏文化専修	英語学・言語研究および英語圏文化の歴史、文化・文学を分野横断的に研究します。高度な専門性を磨きつつ学際的な思考力を身につけます。また、これらの研究を通して国際的に活躍できる英語運用能力を養います。
	地理学専修	地表上のさまざまな現象を空間的関連性の観点から解明するのが地理学です。専修には幅広い専門分野に多くの教員スタッフがいて、質の高い研究・教育を展開しています。
	文化情報学専修	人文学に情報技術を取り入れたデジタル・ヒューマニティーズの手法を応用し、世界に誇る日本文化・芸術・文化遺産をテーマに、研究手法の格段の効率化を図り、魅力的で豊富な専門知識をキュレーションできる人材を育成します。
	考古学・文化遺産専修	人類の残した遺跡や遺物から歴史を復原する考古学を学ぶと同時に、遺跡や遺物を中心とする文化遺産の保存と活用について学びます。日本列島の考古学と文化遺産が対象ですが、日本列島以外についても広く学ぶことが可能です。

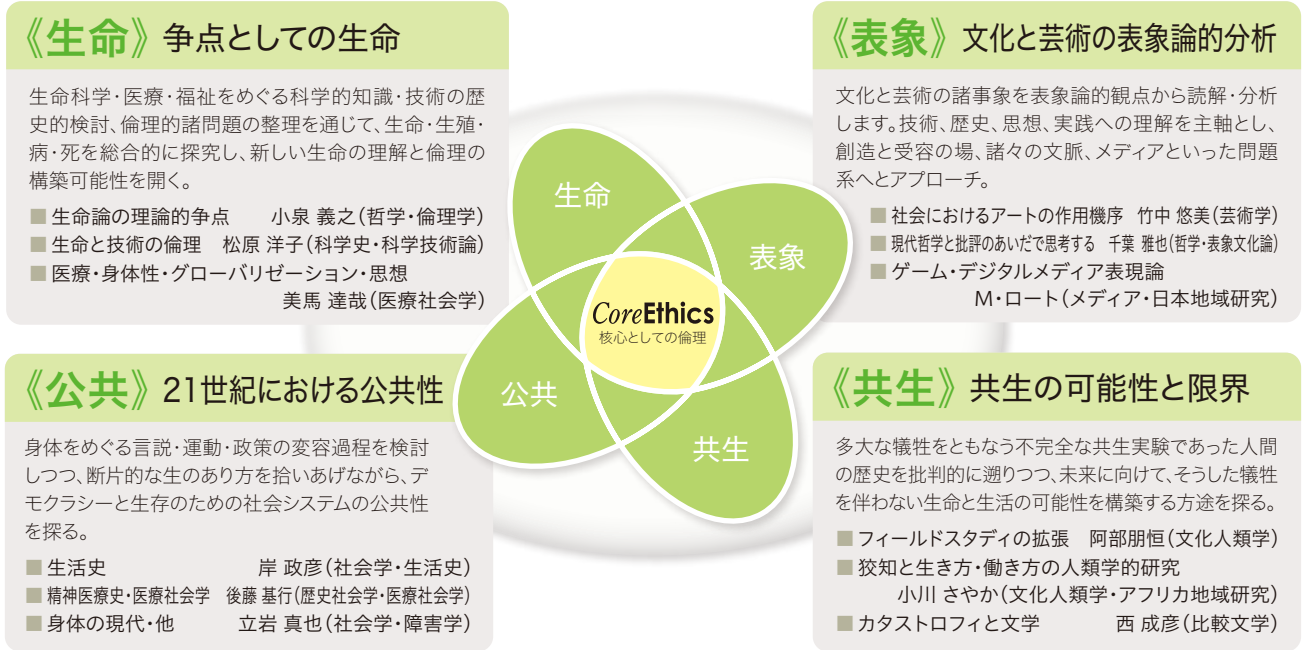
大学院生の目的に応じた2つのコースを設置 [博士課程前期課程]

前期課程では、様々な目的を持つ人を受け入れるため、2つのコース(研究一貫コース、高度専門コース)を導入しています。コースは入学試験出願時に決定し、入学後はそれぞれの目標に沿って研究を進めていきます。

研究一貫コース	高度専門コース
博士課程後期課程に進学して博士学位を取得することを旨とする人。 博士学位取得後は、高等教育・研究機関での教育・研究に従事することを目標とする人を対象とします。	博士課程前期課程修了後は、中学・高等学校教員、公務員、学芸員などの専門的知識が必要とされる職業を目指す人。また現役の有職者で、より専門的な能力を身に付けることを旨とする人。その他、社会人として幅広い活動に応えられる教養を身に付けることを目的とする人を対象とします。



先端的なテーマを総合的に研究し、研究者を養成するために、2003年4月に開設された一貫制博士課程の独立研究科。「核心としての倫理」を軸として、「公共」「生命」「共生」「表象」という4つのテーマ領域のもとで、本学の研究所・センターと連携し、学内外の研究者とネットワークを構築して、ディシプリンを横断するプロジェクト研究を行い、大学院院生を共同研究者として参画させることによって、研究者養成を進めています。



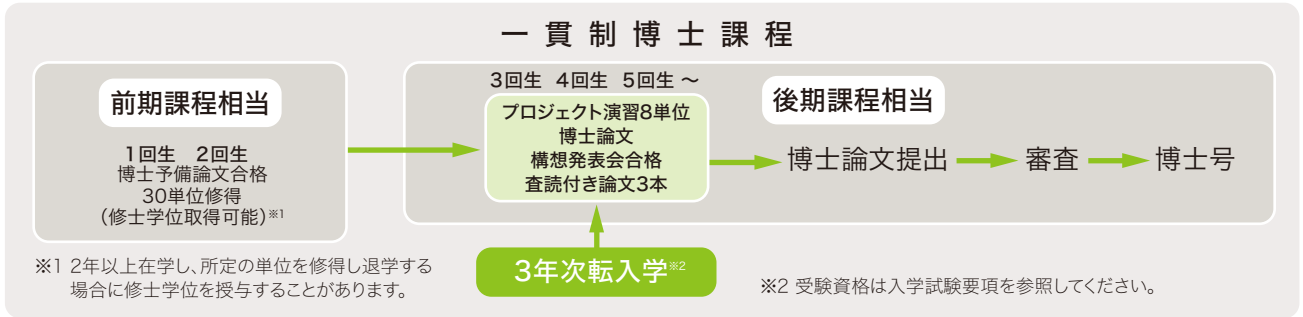
カリキュラム表

分 野	科 目 名
基礎共通科目	基礎講読演習 基礎講読演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
	応用講読演習 応用講読演習Ⅰ～Ⅷ
基礎専門科目	主題別講義 公共論史、公共論Ⅰ・Ⅱ 生命論史、生命論Ⅰ・Ⅱ 共生論史、共生論Ⅰ・Ⅱ 表象論史、表象論Ⅰ・Ⅱ
	特殊講義 特殊講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
サポート科目	デジタルデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ
	アカデミックライティングⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
	リサーチマネジメントⅠ・Ⅱ・Ⅲ
プロジェクト予備演習	プロジェクト予備演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
プロジェクト演習	プロジェクト演習



★学位授与数【博士(学術)】
2003年4月の研究科設置以来、143名の博士学位取得者を輩出。(2022年3月31日現在)

←★刊行物
●先端総合学術研究科紀要「コアエシックス」(外部査読員による査読付き雑誌)
●修了生、教員多数の著作物あり。くわしくは先端研ウェブサイトをご覧ください。

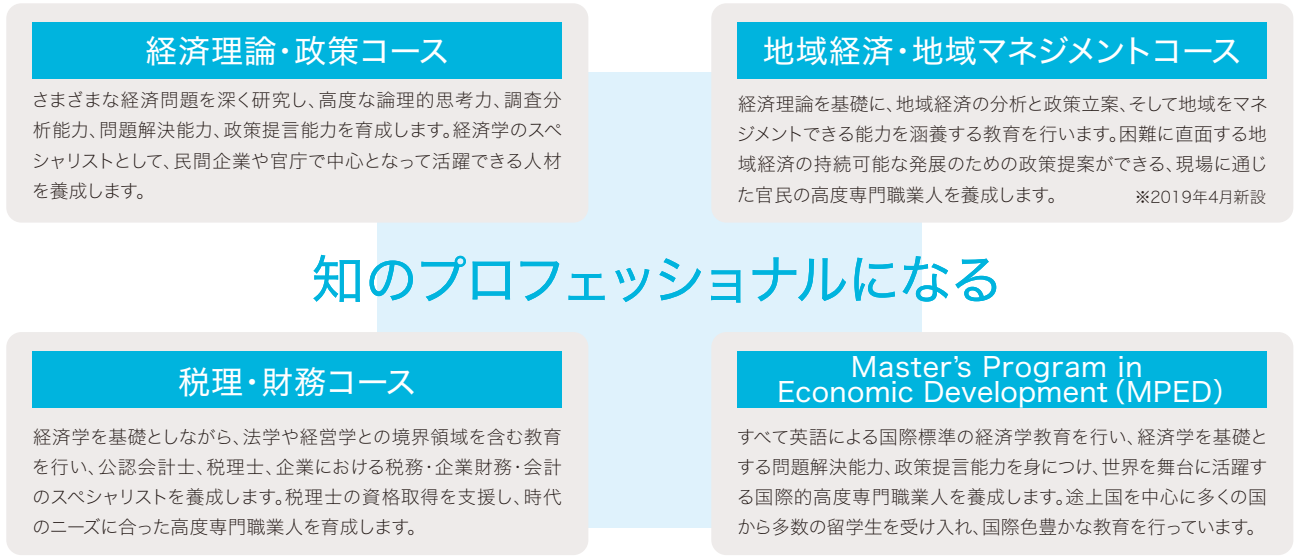


最近の博士論文テーマ

- 日本の「ゲームセンター」史—娯楽施設が社会に根付く過程を中心に—
- 京都市における「まちの居場所」活動の実践に関する研究
- 過労死家族の会の形成と展開 —京都と大阪の過労死運動と過労死家族の会と当事者の事例から—
- 近現代日本の精神医療における作業療法に関する歴史研究 —作業を介在させた治療法の導入と展開
- 精神障害を生きる当事者の「生の実践」 —リカバリーと就労支援の現場に着目して
- Same-sex Marriage and Pluralistic Family Forms — Study on Sexual Equality in Taiwan — <同性婚と多元的な家族形態 —台湾における性別平等に関する研究—>
- A case study of a Beijing Manju Elite Lady's School and the US-Ch'ing Relations(1900～1916) <ある北京満州貴族女子学校と米清関係について(1900～1916)>
- 医療的ケアを必要とする小児と家族の社会関係の縮小と再構築について
- On the Use of Interactive Media Art to Help Autistic Children Develop Friendship <自閉症児童の人間関係改善におけるインタラクティブ・メディア・アートの応用について>

博士課程前期課程

前期課程では、「経済理論・政策コース」「地域経済・地域マネジメントコース」「税理・財務コース」「Master's Program in Economic Development(MPED)」の4コース制とし、それぞれの人材育成目的の下、少人数による研究指導やカリキュラムの充実を図っています。外国人留学生を積極的に受け入れ、特にMPEDは留学生を中心としてすべて英語による授業を行っています。世界的に高まっている高度なスキルを持つ人材へのニーズにこたえるため、国際通用力の高い論理的思考力と構想力および創造性を持った人材を養成しています。



博士課程後期課程

後期課程では、広い視野と深い専門性および優れた独創性を持ち、新たな領域の研究分野を自ら切り開いてゆくことができる高い研究力量を備えた研究者を養成しています。この結果さまざまな大学や研究機関に多くの人材を輩出しています。

コース・カリキュラム紹介

	経済理論・政策コース	地域経済・地域マネジメントコース	税理・財務コース	MPED
1. 博士課程前期課程 (主な科目)	社会科学概論 ミクロ経済理論 マクロ経済理論 計量経済学 経済史 経済政策 経済理論 社会政策論	地域政策 地域マネジメント論 経済統計 社会科学概論 ミクロ経済理論 マクロ経済理論 地域ブランド論 観光経済論 アグリビジネス論	税法 租税制度論 国際課税 租税各論 商法・会社法 税務会計 インターンシップ	Microeconomics Macroeconomics Econometrics Japanese Economy Frontiers of International Project Development Infrastructure Development Policy Development Economics International Economics Financial Economics Applied Economics Elementary Seminar Research Seminar Special Seminar
2. 博士課程後期課程 (主な科目)	財政学 国際金融 経済発展論 経済学特別演習	金融論 国際経済論 応用経済研究 経済学研究演習	研究演習	特別講義

修了要件

前期課程

修了するためには、2年以上在学し、コア系4単位以上および経済学特別演習Ⅰ、経済学特別演習Ⅱ、経済学研究演習Ⅰ、経済学研究演習Ⅱを含めて30単位以上を修得し、修士論文を提出し、それに基づく最終試験に合格しなければいけません。(MPEDの場合、コア系4単位以上およびElementary SeminarⅠ、Elementary SeminarⅡ、Special SeminarⅠ、Special SeminarⅡ)

後期課程

修了するためには、3年以上在学し、研究演習Ⅰ(2単位)、研究演習Ⅱ(2単位)、研究演習Ⅲ(2単位)、研究演習Ⅳ(2単位)、研究演習Ⅴ(2単位)、研究演習Ⅵ(2単位)を含めて12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士学位請求論文を提出し、それに基づく博士学位授与審査に合格しなければいけません。

過去の修士論文タイトル一例

- 日本のETFのパフォーマンス—ETFのトラッキングエラーの実証分析—
- 移転価格税制における費用分担契約の研究
- Monetary Policy Effectiveness and Financial Development : An Empirical Examination.
- When is a Country Ready to Export Manufactured Goods?
- いじめ問題への経済学的应用
- 消費税法における課税仕入れの制限に関する一考察



※情報理工学研究科は、2024年4月に大阪いばらきキャンパス(OIC)に移転します

研究科の特徴

今、めまぐるしいスピードで科学技術が変化・進展し、社会や産業も変わり続けています。理工学研究科は、理学と工学の伝統的な高度な理論・技術だけでなく、IoTやAIまで、あるいはハードウェアからソフトウェア、高齢化社会対応問題、地球規模の環境問題などまで、幅広く取り組みます。そして、新しい価値を創造できる研究者や高度専門技術者の育成を目指します。海外科学技術実習を支援するプログラムによってグローバルに活躍できる研究者や高度専門技術者の育成も目指しています。

4つの専攻

基礎理工学専攻 数理科学コース 物理科学コース

ファイナンスや情報セキュリティ分野における数理科学、エネルギー問題やナノテクノロジーにおける物理科学と工学の融合など、多分野とも関連を持って発展する学問分野を研究します。

電子システム専攻 電子システムコース

毎日の生活を支えるエレクトロニクスや光工学、高性能かつ大規模な電子・情報システムなど、多岐にわたる電気電子工学領域を研究します。

機械システム専攻 機械工学コース ロボティクスコース マイクロ機械コース

機械工学・ロボティクス・マイクロ機械工学に基礎を置き、これらの融合分野をも包括した教育・研究を行います。

環境都市専攻 都市システム工学コース 環境システム工学コース 建築都市デザインコース

都市の社会基盤の整備、地球環境問題やバリアフリーへの配慮など、安全な社会生活を送るために解決すべき課題について教育・研究を行います。



博士課程後期課程

博士課程前期課程

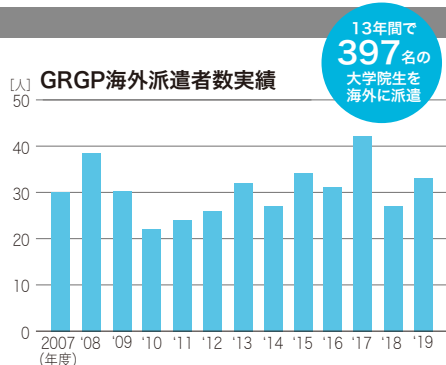
教育・研究の世界展開

実践的英語力を身につけ、海外での武者修行に挑む

理工学研究科では、世界各国から留学生を受入れるとともに、多くの日本人学生を海外に派遣しています。「国際的なフィールドで活躍するための意欲や素養・経験を身につけたリーダーとなり得る理工系技術者・研究者の養成」を目標に、Global-ready Graduate Program (GRGP)はその前身となるプログラムを2007年度にスタートさせました。正課で理工系学生の研究推進に必要な実践的英語コミュニケーション能力を集中的に身につけさせるとともに、学生を世界各国の大学・研究機関・企業での留学に送り出しています。

インドのトップクラス理工系大学との教育・研究交流

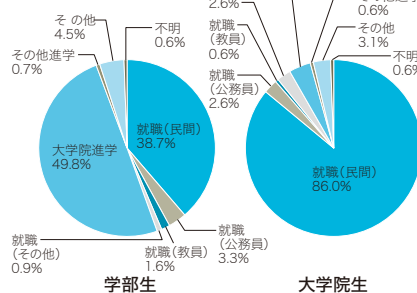
立命館大学理工系3学部・3研究科は、以前からインド工科大学ハイデラバード校(以下、IITH)やニッテ大学NMAMIT、シンピオシス国際大学など、インドの理工系大学と様々な学生・研究交流等を進めています。「インド工科大学ハイデラバード校PBLプログラム」では、インドが直面している様々な課題について、事前講義で調査・解決方法を提案し、IITHでの現地研修(7日間程度)において、企業訪問や施設見学、IITH学生とのPBL(Problem/Project Based Learning)を行います。PBLを進める中で課題を発見し、その解決策を見つけ出すプロセスの重要性を学び、思考力・推進力・チームワーク・英語でのコミュニケーション力等を身につけます。



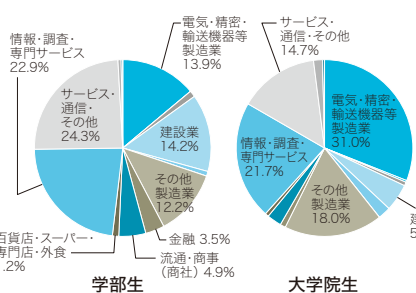
大学院修了者の就職実績(2021年3月卒)

理工学の専門性を活かすためには、大学院修了が大変優位です。特に製造業ではその差は顕著です。また、「研究・設計・開発職」へ従事する割合についても、学部卒を上回っています。 ※円グラフの数値(%)は、小数点以下を四捨五入したものであり、端数処理の関係で100%にならない場合があります。

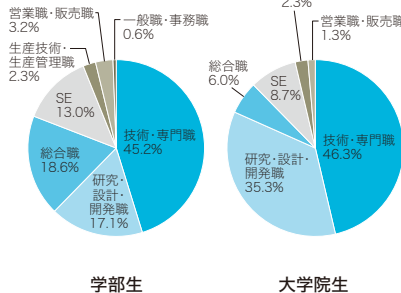
進路決定状況



業種別就職状況



職種別就職状況



MASTER 博士課程前期課程

情報理工学専攻

計算機科学コース

計算機科学コースでは、計算機アーキテクチャやソフトウェア技術、情報ネットワーク技術を中心にヒューマンインタフェースや認知工学といった分野の教育研究を行います。

人間情報科学コース

人間情報科学コースでは、言語・音声・画像などのメディア処理技術やバーチャルリアリティ、知能システムや人間工学、知能ロボティクスといった分野の教育研究を行います。

博士課程前期課程
情報理工学専攻
計算機科学コース
人間情報科学コース

DOCTOR 博士課程後期課程

情報理工学専攻



DOCTOR 博士課程後期課程

情報理工学専攻

情報理工学専攻では、研究科に相応しい高度な専門的実験・実習設備・機器環境を活用した教育・研究を展開します。また、国際連携、地域連携や国内外の産業界、学内関連研究科との連携等、様々な連携型研究を行います。

修了要件とカリキュラム

前期課程

科目分野	必要単位数
共通科目	4単位以上
固有専門科目	10単位以上
特殊研究科目	16単位
自由科目	—
合計	30単位以上

「グローバル科目」を2単位以上修得すること

後期課程

科目分野	必要単位数
特別研究科目	8単位以上
実習・演習科目	—
自由科目	—
合計	8単位以上

固有専門科目・特殊研究科目(前期課程)

科目区分	計算機科学コース	人間情報科学コース
固有専門科目	Webインテリジェンス特論 言語メディア特論 システムプログラム特論 情報セキュリティ特論 ソフトウェア工学特論 知能機械特論 分散システム特論 マルチエージェントシステム特論 ワイヤレスネットワーク特論 組込みシステム特論 Advanced Topics in Communication Science ★ Advanced Topics in Global Software Engineering ★ Advanced Topics in Computer Science ★ Advanced Topics in Human Factors for System Engineering ★ Special Topics ★ 特殊講義 データサイエンス特論 データサイエンス特論演習 ヘルスケアシステム開発 ヘルスケアシステム開発演習 機械学習特論 機械学習特論演習	Webインテリジェンス特論 音声音響メディア特論 言語メディア特論 システム制御特論 生体情報処理特論 知能機械特論 脳機能情報処理特論 ビジュアルコンピューティング特論 ヒューマンインタフェース特論 Advanced Topics in Computational Intelligence in Games ★ Advanced Topics in Image Processing ★ Advanced Topics in Knowledge-based Systems ★ Advanced Topics in Human Factors for System Engineering ★ Special Topics ★ 特殊講義 データサイエンス特論 データサイエンス特論演習 ヘルスケアシステム開発 ヘルスケアシステム開発演習 機械学習特論 機械学習特論演習
特殊研究科目	情報理工学特殊研究1～4	情報理工学特殊研究1～4
自由科目	技術者実践英語特論	技術者実践英語特論

特別研究科目(後期課程)

情報理工学特別研究1～6

★ 印は英語で開講する科目です。

数字で見る就職実績

研究科修了者の就職実績を学部卒業者と比較してみると、就職決定率だけでなく、就職先の規模においても有利であることがわかります。また職種別で比較すると、研究職や高度専門職に就く可能性が圧倒的に高まります。

	学部	研究科
就職決定率(就職決定者/就職希望者)	91.2%	94.2%
巨大企業・大企業への決定率(資本金規模別) ※巨大企業：資本金10億円以上 大企業：資本金1億円以上10億円未満	76.7%	88.5%
東証一部上場企業への決定率	31.7%	54.6%
技術専門職	24.6%	34.6%
研究・設計・開発職	7.5%	30.0%

グローバル人材の育成

海外IT研修プログラム

国際社会を舞台に活躍できる人材育成を目標に掲げている当研究科では、一定の英語運用能力を有する学生を対象に、長期休暇期間を利用した海外IT研修プログラム(インド)を展開。日常生活から学びに至るまですべてを英語で行うトータル・イマージョン・スタイルを採用し、より高いレベルの英語運用能力・異文化適応能力を養います。

海外インターンシップ・プログラム

海外でのインターンシップ(ベトナム・インド・中国・アメリカ)を通じて自らの専門分野を深め、実践的な能力を修得するとともに、自己理解を深め、職業の実像をつかみながら、将来の進路選択として確かな職業観を身につけることを目的としています。日系IT企業や現地IT企業でIT知識を活用することによって専門性を深めることができます。





MASTER 博士課程前期課程

生命科学専攻

応用化学コース

応用化学コースでは、物理化学・無機化学・分析化学・有機化学・生化学などを基盤として、物質の機能を解明するための、また、新物質の創製を実践するための化学的理論と技術を幅広く学びます。材料化学からエネルギー、生体関連物質まで、幅広い分野で研究を展開します。

【キーワード】
●新物質 ●ナノテクノロジー ●環境分析 ●エネルギー変換 ●機能材料

生物工学コース

生物工学コースでは、生化学、分子生物学、微生物学などを基盤とし、環境、食料、資源、エネルギーに関連する生物工学理論や技術を幅広く学びます。また、生物機能、生態系の構造・機能の解析や生物由来生理活性物質の解明などの基礎研究や、これらを基盤とした環境、食料、資源、エネルギーに関する応用研究を展開します。

【キーワード】
●微生物 ●バイオエネルギー ●分子生物学 ●環境浄化 ●生物資源 ●植物

生命情報学コース

生命情報学コースでは、コンピューター（情報科学）を利用して、生命活動の仕組みを解明するため、その基礎となる生命科学、情報科学、生物機能の解析技術に関する専門知識を幅広く学びます。その上で、遺伝情報、タンパク分子構造—機能相関、生体機能などの数理解析に関する研究を行い、生命科学、医学薬学、食品、情報技術に関連した研究を展開します。

【キーワード】
●システムバイオロジー ●ゲノム解析 ●情報科学 ●バイオインフォマティクス

生命医科学コース

生命医科学コースでは、多岐にわたる基礎医学の先端領域とその融合領域を学び、未知の生命現象や様々な疾病の発症機構を解明します。更に、先端技術で開発された医薬品などの新規医療技術の適切な評価と社会への応用方法も学び、広く生命医科学研究を展開します。

【キーワード】
●再生医学 ●癌 ●脳科学 ●生活習慣病 ●生薬 ●稀少疾患 ●医用材料 ●医療政策



博士課程後期課程

DOCTOR 博士課程後期課程

生命科学専攻

生命科学専攻では、博士課程後期課程に相応しい高度な専門の実験・実習設備、および機器環境を活用した教育・研究を展開します。また、国際連携、地域連携、国内外の産業界、学内関連研究科との連携等、様々な連携型研究を行います。

教員の研究内容については、生命科学研究科ウェブサイトでご確認ください。

修了要件とカリキュラム

前期課程

科目区分	必要単位数	合計
共通科目	4単位以上	
コア科目		
専門科目	10単位以上*	30単位以上
選択科目		
研究科目	16単位	

※コア科目は3科目6単位以上修得する必要があります。

後期課程

科目区分	必要単位数	合計
専門科目	—	
研究科目	8単位以上	8単位以上

専門科目(コア科目)(前期課程)

【応用化学コース】

構造物理化学特論
反応物理化学特論
物性・反応化学特論
無機構造物性化学特論
無機機能材料化学特論
X線分析化学特論
有機分子化学特論
有機機能材料化学特論
有機反応・構造化学特論
応用生物化学特論

【生命情報学コース】

ゲノム情報学特論
分子構造・機能学特論
数理生体機能学特論
分子設計学特論
生体分子ネットワーク特論
植物生理学特論

【生命医科学コース】

基礎生命医科学特論
応用生命医科学特論
先端生命医科学特論
生命医科学研究法概論

【生物工学コース】

環境バイオテクノロジー特論
エネルギー・資源バイオテクノロジー特論
食料バイオテクノロジー特論
生物工学研究特論

研究科目(前期課程)

生命科学特殊研究1～4

研究科目(後期課程)

生命科学特別研究1～6



修了要件

薬学専攻博士課程

4年間(標準修業年限)以上在籍するとともに、専門科目で14単位以上、特別研究科目から16単位修得し、学位審査を経て博士学位の授与をもって修了したものとします。

薬科学専攻博士課程前期課程

2年間(標準修業年限)以上在籍するとともに、専門科目より、14単位以上、「演習(8単位)」および「特別実験(8単位)」を修得し、学位審査を経て修士学位の授与をもって修了したものとします。

薬科学専攻博士課程後期課程

3年間(標準修業年限)以上在籍するとともに、「特別研究Ⅰ～Ⅵ」を含む12単位以上を修得し、学位審査を経て博士学位の授与をもって修了したものとします。



過去の博士論文

「立命館学術成果リポジトリ」で閲覧できます。

薬科学専攻

創薬分野の研究を深め、新薬の発見・創製につなげる研究者を養成

2年制

薬科学専攻博士課程前期課程

多岐にわたる医薬品創製のプロセスを5つの分野(薬品分子創製化学、生体分子解析学、薬物動態解析学、生体機能薬学、薬物作用解析学)に分類し、専門分野に応じた基盤的な知識および先端的研究技術が取得できる教育・研究体制を整備しています。

薬科学専攻博士課程前期課程の人材育成目的

薬科学の専門知識および研究力を備え、研究機関、教育機関、産業界、衛生行政等に貢献できる人材を育成することを目的とする。



3年制

薬科学専攻博士課程後期課程

高度な専門知識と研究に必要な一連の能力を取得できる教育・研究体制を整備しています。

薬科学専攻博士課程後期課程の人材育成目的

高度な薬科学の専門知識および優れた研究力を備え、研究機関、教育機関、産業界、衛生行政等に貢献できる人材を育成することを目的とする。





立命館大学大学院 経営学研究科では、これまでの経営学の体系的な学びを深めることに加え、「これからの経営学の可能性」を追究しています。そのために、世界・日本の学術・研究をリードする教授陣と実践的なプログラムを用意しています。あなたの将来の可能性をさらにここで伸ばしてみませんか？



博士課程前期課程

前期課程では、「技術経営・戦略」「組織・人事」「マーケティング」「国際ビジネス」「会計学」「ファイナンス」「デザイン・マネジメント」などの分野で、これからの企業経営の展開を視野に先進的で多面的な教育を行っています。経営学に関する高度な専門知識および、会計や統計の処理、語学などに関する高度な技能をもち、組織の中で適切に知識と技能を活用できる人材を育成します。併せて、社会の要請に応え、正義と倫理をもち、グローバル化する社会の中で組織のリーダーシップを発揮しうる人間を育成します。

時代は未来の「あるべき社会」を創造し、それらを実現する力をもったマネジメント人材を求めています。経営学研究科は、経営学の専門知識修得を中心にしつつ、幅広い学際的素養を身につける多様な学びと能動的な研究姿勢を支援する大学院教学を展開しています。

前期課程での学修の進め方

前期課程での学修は修士論文の作成が集大成となりますが、経営学研究科では2回生から修士論文指導が始まるカリキュラムとなっています。1回生時は「基幹科目」「展開科目」の履修により経営学に関する理論の修得や、「研究方法科目」の履修による情報収集・分析手法の獲得など総合的な学力を身につけることが重要です。併せて、外国文献研究または英語開講科目を受講することにより、英語文献レビューと英語での学修を進めます。研究指導教員は各自の研究テーマにもとづく調整によって、1回生春学期中に決定します。「研究展開科目」を研究指導教員の指導のもと各自の研究テーマに沿って、1回生秋学期に履修します。2回生では、1回生時に修得した専門知識をもとに、修士論文の執筆が本格化します。春学期には中間報告会にて研究経過を報告し、2回生秋学期に研究成果を修士論文として仕上げます。

博士課程後期課程

後期課程では、指導教員のもと、前期課程における研究を継続して研究論文を執筆し、学会誌への掲載や、学会での報告などによって深化させ、高度な研究能力を身につけ、将来にわたって研究活動を継続できる自立した研究者を育成します。

主な開講科目一覧 前期課程

科目群	科目名	単位数	科目群	科目名	単位数
基 幹 科 目	経営史Ⅰ(アジア・日本)	2	研究 方 法 科 目	統計学Ⅰ	2
	競争戦略	2		統計学Ⅱ	2
	マーケティング	2		研究方法論	2
	生産マネジメント	2		外国文献研究Ⅰ～Ⅳ	各1
	組織科学	2		アカデミックライティング	2
	経営財務	2	英 語 開 講 科 目	International Business I	2
	会計学	2		International Business II	2
展 開 科 目	ビジネス・エコノミクス	2		Finance	2
	アントレプレナーシップ	2		Marketing	2
	金融・証券	2		International HRM	2
	経営史Ⅱ(欧米)	2		Environmental Management	2
	ビジネス倫理	2		Business Economics	2
	人的資源管理	2		Special Lecture※1	2
	財務会計	2	キャリア開発科目	大学院コーオプ演習	2
研究展開科目	企業会計	2		インターンシップ演習	2
	技術経営・戦略研究	2		海外インターンシップ	2
	マーケティング研究	2	特 殊 講 義	特殊講義Ⅰ～Ⅹ※2	各2
	組織・人事研究	2	研究 指 導 科 目	特別演習Ⅰ	2
	国際ビジネス研究	2		特別演習Ⅱ	2
	会計学研究	2			
	ファイナンス研究	2			
	デザイン・マネジメント研究	2			

※1「Introduction to International Management」、「Merger and Acquisitions in the frame of International Business」など種々な内容で開講

※2「計量経済学入門」、「質的調査法」、「量的調査法」など種々な内容で開講

過去の論文タイトル一例

- 博士課程前期課程** 「コンテンツ産業における競争優位の再構築とイノベーション：ネットフリックスを事例として」「従業員満足度に影響を与えるインターナル・マーケティング・ミックスの特定～既存尺度の再検討を通じて～」「コーポレート・ガバナンスが日本企業のコストの下方便便性に与える影響」
- 博士課程後期課程** 「デスティネーション・マネジメントの理論的再検討ー地域再生の核となるツーリズムの展開を巡ってー」「プロフェSSIONALとしてのデザイナーの持つデザイン態度(Design Attitude)の探索的研究」

現代社会が直面する政策課題の理解と適切な解決策の創造に関する研究能力を育成する

政策科学研究科目

公共政策関連科目

政策形成過程への視野を修得する科目が配置されています。政策過程は合意の形成過程であり、政策・施策の「社会的合理性」がこの科目群の主題となります。政治過程論、行政学、公共哲学、法政学を中心とする科目が配置されています。

環境開発関連科目

政策・施策の「科学的合理性」がとりわけ重要な意味をもつのは、環境・開発・都市の領域です。この科目群には、環境科学・都市工学・計画理論を中心とする科目が配置されています。

社会マネジメント関連科目

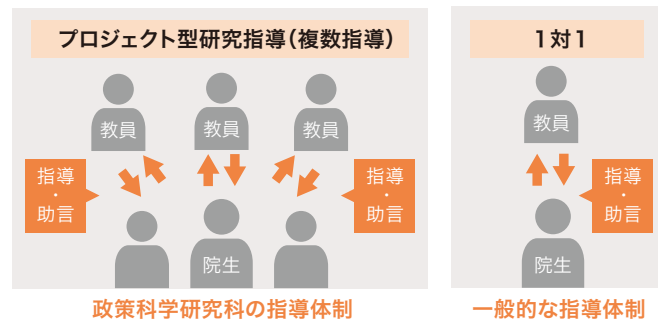
「市場的合理性」(効率性と組織マネジメント)は、営利企業はもちろんのこと、公共機関・非営利組織の課題を解決するための重要な視点です。この科目群には、経済学・経営学・社会学の知見を広く社会の諸部門の問題解決に接続させるための科目が配置されています。

共 通 科 目

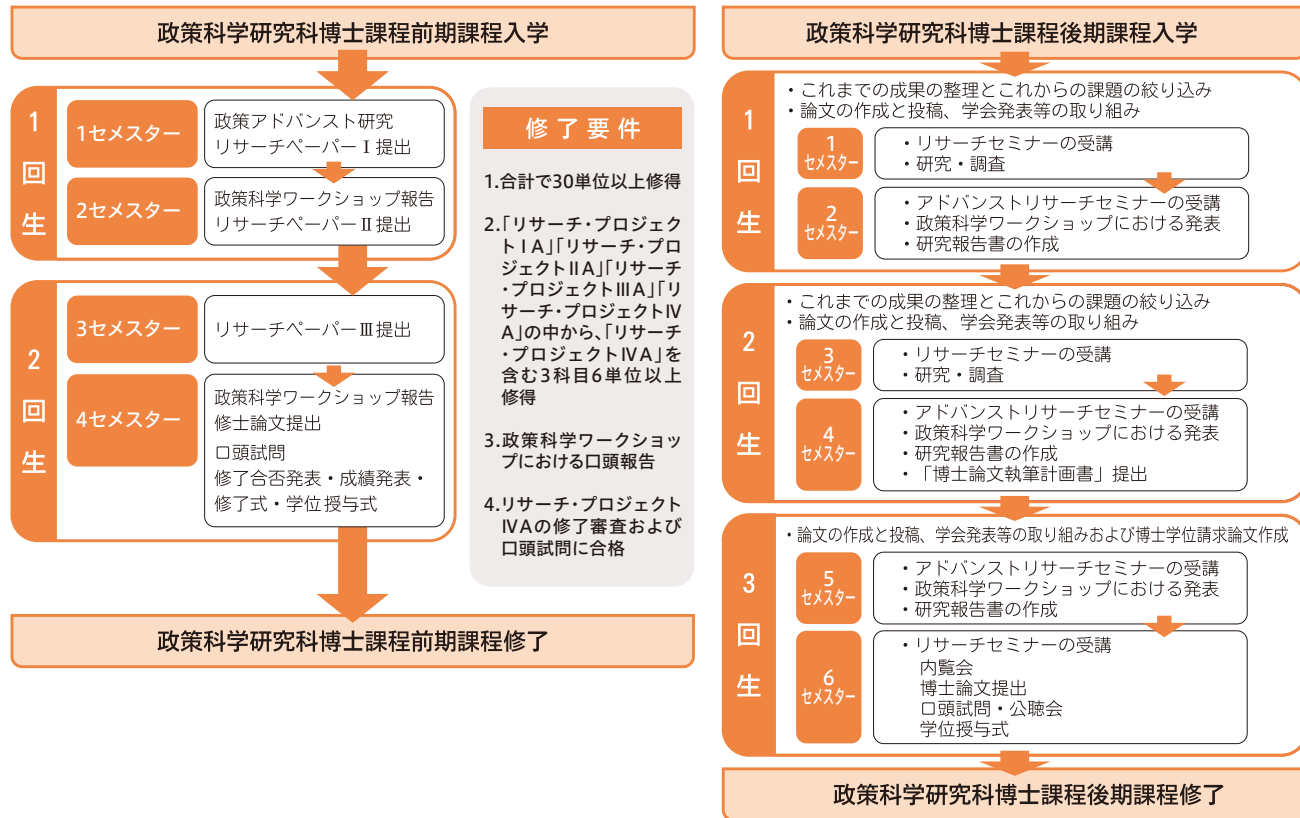
学知の総合としての政策科学の基礎を修得する科目、研究領域や研究課題を問わず必要とされるスキルを修得するための科目が配置されています。新しい学問分野である政策科学の基礎理論、基本的な分析手法を修得することができます。

政策課題に応じたプロジェクト型の研究指導体制

政策科学研究科は、領域横断的な教員の共同研究チームを組織し、それぞれのチームによる共同研究プロセスに院生が参加するプロジェクト型研究指導(PBL)の方法を採り入れています。リサーチ・プロジェクトでは、一人の指導教員が一つの専門領域に特化した研究指導を行うのではなく、領域・テーマに共通の関心を持ちながらも、それぞれ異なった学問的背景を持つ複数の教員が院生の研究指導を行う集団的指導の方法を取り入れています。



研究指導フローチャート



過去の修士論文／博士論文タイトルの例

- <博士課程前期課程>
◇Silver democracy in Osaka Metropolis Plan Referendum - An Examination of the Theory ◇冷戦後のトランスナショナル・ネットワークと民族紛争ー コソボ紛争を事例としてー ◇公的資金の地域経済への影響に関する研究ー 一長野県飯田下伊那地区を事例にー ◇二酸化炭素吸収促進に寄与する森林施策の評価 ◇アニメ作品の「聖地巡礼」を通じた中国人観光客の誘致策に関する研究 ◇Conflict Resolution over Coastal Resources : A Case Study of Mining, Fisheries, and Tourism in Bangka Belitung Province, Indonesia
<博士課程後期課程>
◇A Study on Conventional Motorcycle Taxi's Demand in the Urban Fringes of Outer Metropolitan Area: Case Study in West Java, Indonesia(大都市圏外縁部における在来型バイクタクシー需要に関する研究:インドネシア・西ジャワ州を事例として) ◇The Analysis of Government Spending on Education: Theory and Empirical Evidence from the Districts in Indonesia(政府の教育支出に関する分析:理論とインドネシアの県レベルデータから見る実証的証拠) ◇韓国政府による在日コリアンの包摂と排除ー季承晩政権を中心にー ◇大震災を想定した集中型観光客への公助対応フレームワーク(PSDRフレームワーク)による避難難民政策に関する研究ー世界遺産姫路城を事例としてー



ビジネスを創造するリーダーを育成

Feature 01 経営を基本から学ぶ

MBAのグローバルスタンダードに準拠した基礎科目で経営について一から学び、より応用的な展開科目、そして多彩な特殊講義を受講していきます。入学後に履修アドバイザーから履修方針について個別アドバイスを受けます。初めて経営を学ぶ人も不安なく学修を進められます。

Feature 03 問題関心を掘り下げる

「課題研究」(ゼミ)では、担当教員による集団指導・個人指導の下、自らのキャリアに関わるテーマについて研究を行います。研究の課題と内容が重要であり、最終レポートは必ずしも学術的な形式に沿う必要はありません。

Feature 02 実践力を養う授業

知識を身につけるだけでなく、実践のために必要なスキルやマインドセットを修得します。多彩な実務家教員からは多くの刺激が得られます。授業ではグループワークやプレゼンテーションの機会が多く、常に真剣勝負が求められます。

Feature 04 生涯にわたるネットワーク

共に学んだ仲間との関係は一生の財産となります。修了生の交流組織“RIMO”によるイベントやゼミ同窓会の活動も盛んに企画されています。研修生として登録すれば、図書館、学内データベース、電子メールを修了後も使用できます。

対象者別の2つのプログラム

キャリア形成プログラム

〈学部卒業生(留学生含む)対象〉

大阪いばらきキャンパス/平日昼間開講

- 大学卒業後、勤続3年未満の方を対象とするプログラム
- ビジネスを創造するリーダーを将来目指し、ビジネスパーソンとして活躍するための知識と能力の向上を目標とする

マネジメントプログラム

〈社会人対象〉

大阪梅田キャンパス/平日夜間・土日開講

- 大学卒業後、勤続3年以上の方を対象とするプログラム
- 経営者や経営幹部を志向するビジネスパーソンはもちろん、起業を検討している方、自分らしいキャリアを構築したい方にも対応
- ビジネスを創造する際に求められるリーダーシップやマネジメント力の向上を目標とする

カリキュラム [2022年度]

基礎科目(14単位以上必修)			展開科目 (特殊講義科目を除くプログラム指定の科目群から16単位以上必修)				演習科目 (4単位必修)		実習科目		
企業経営の基礎的素養を身につけるための科目群			企業経営の各分野の専門的な力量を形成する科目群								
A群(10単位以上必修)		B群									
マネジメントプログラム	競争戦略	国際政治経済	【ビジネス科目群】				特殊講義科目				
	マーケティング		戦略ユニット				戦略経営				
			経営政策	国際経営戦略							
	組織行動		アントレプレナーシップ		事業創造						
	ファイナンス	論理的思考とプレゼンテーション	組織ユニット					戦略コンサルティング			
			人的資源管理	キャリア開発							
	コーチング		異文化マネジメント								
	アカウンティング		企業倫理	マーケティングユニット					都市と観光のマネジメント		
		マーケティングリサーチ		消費者行動							
	商品開発	サービスマネジメント		観光ホスピタリティマネジメント							
	ファイナンスユニット										
	企業分析	統計学	M&A戦略		ストラクチャードファイナンス		MICEマネジメント				
コーポレートファイナンス			投資戦略								
技術経営	会計ユニット				介護経営						
	財務諸表		管理会計								
				コーポレートガバナンス		租税法					
キャリア形成プログラム	競争戦略	国際政治経済	【ビジネス科目群】				医療経営				
	マーケティング		産業動態分析		キャリア開発		デジタルマーケティング				
			マーケティングリサーチ	商品開発							
	組織行動		アントレプレナーシップ		ビジネスプラン						
	ファイナンス	企業倫理	異文化マネジメント		イノベーション戦略			ディスティネーションマネジメント			
			サービスマネジメント								
	アカウンティング		統計学	【会計ファイナンス科目群】							
				経営リテラシー	財務諸表		管理会計		ほか		
	企業分析	会計リテラシー		コーポレートファイナンス	M&A戦略と企業価値評価						
				投資戦略	コーポレートガバナンス						
	技術経営										
	修了に必要な修得単位：46単位以上										

修了に必要な修得単位：46単位以上

出身学部(立命館大学／立命館アジア太平洋大学から進学した者)

立命館大学：映像学部、経営学部、経済学部、産業社会学部、政策科学部、総合心理学部、文学部、法学部、理工学部

立命館アジア太平洋大学：国際経営学部

コースの紹介

市民的な感覚を備えながら、地球的な規模で考え行動する「地球市民法曹」の養成を目指します。

法学未修者コース(3年制)

法学既修者コース(2年制)

※各コースは入学試験時の入試方式(受験科目)で判断されます。出身学部・学科とは関係ありません。

カリキュラムの特徴

基本的な力を確実に身につけ、国際舞台でも地域社会でも活躍できる法曹を育成する充実のカリキュラム。

司法試験突破へ専念できるカリキュラム構成

法科大学院修了直前の3年次秋学期(既修者コースは2年次秋学期)は、最後の総仕上げで一番大切な時期。必修科目は配置されていないため、「民法展開演習」「刑事法展開演習」などの選択科目を受講し、自らの学習の進み具合に応じた学習ができます。

密度の高いカリキュラム

法曹となるための基本的な力を身につける「法律基本科目」では、主要3科目(憲法・民法・刑法)が1年次春学期から3年次春学期まで全セメスターに配置されています(未修者コースの場合)。更に選択科目を新たに設け、民法・刑法は3年次秋学期まで継続して受講できます。本研究科のカリキュラムは、既修者コース・未修者コースとも着実に実力をつけることができる構成になっています。

刑法の例					
1年次 春学期	1年次 秋学期	2年次 春学期	2年次 秋学期	3年次 春学期	3年次 秋学期
刑法A	刑法B	刑法C	刑法演習	刑事法実務 総合演習	刑事法 展開演習
4単位・週2回	2単位	1単位	2単位	2単位	2単位・選択科目
継ぎ目のない連続的なカリキュラムで実力UP					

多様なニーズに応える潤沢な選択科目

司法試験選択科目に備えるだけでなく、法曹として将来の専門性を高めていくため、特に重要な8分野で各8単位分の授業を用意しています。断片的で自学自習に頼りがちなこれらの分野で、手厚いサポートを受けて学習することが可能です。

法実務の現場を必ず体験(実習科目)

法曹として実際に活躍する現場を早い段階で体験することは、学習を進める上で大きな刺激になるばかりか、将来の進路希望を考える際にも非常に参考になります。また、実習を通じて実務家との人脈づくりにもつながります。

教員(弁護士)と共同で実際の法律相談を受付ける「リーガルクリニックⅠ」、女性や人権問題を専門に扱う「リーガルクリニックⅡ(女性と人権)」、弁護士事務所・企業法務部・地方公共団体での研修「エクスターンシップ」を用意しています。このうち一つを必ず履修します。

苦手意識をもつ方が多い「訴訟法」分野を大幅強化

2020年4月入学者からの新カリキュラムでは、苦手な方も多い「民事訴訟法」「刑事訴訟法」の学習を一層強化しています。「民事訴訟実務の基礎」「刑事訴訟実務の基礎」を新たに開設し、それぞれ裁判官教員と検察官教員・弁護士教員が担当します。現職の実務家が担当することで、リアルな実務の流れに触れながら理解を深めることができます。また、学習が進んでいる方を対象に入学前に「履修免除試験(民事訴訟法・刑事訴訟法)」を実施します。

そのほか、新カリキュラムでは、「行政法」についても、「行政法演習Ⅰ」「行政法演習Ⅱ」を新設し、法科大学院入学後に確実に力がつくようにします。これに併せて入学試験では「行政法」試験を廃止しています。

充実した給付奨学金

金額	S奨学金	A奨学金	B奨学金
	年間授業料×2年連続給付* (1,329,600円)	年間授業料×1年間 (1,329,600円)	60万円×1年間
期間	未修:最長3年間 既修:最長2年間		
	S奨学金・A奨学金・B奨学金給付後は、全学生を対象に前年度の成績により毎年成績優秀者に奨学金を給付します。		

2022年度入学者には全員に奨学金が給付されました

法学未修者
コース合格者にも
S奨学金あり!



教職研究科とは

学校現場は、いじめや不登校などの複雑化・深刻化する教育課題への対応、「主体的・対話的で深い学び」を実現する新しい発想での授業の実施、グローバル化課題への対応など急速な変化の中にあります。このような状況で教員にはより一層の高い指導力、実践力が求められており、その力を高めていくのが今後の教員養成・現職研修の中核を担うとされている教職研究科(教職大学院)です。

教職研究科(教職大学院)は、急速に変化する社会の中で、新しく求められる高度な教育実践を行い、学校現場の課題に柔軟に対応できるよう、教員としての総合的な力を身につけるための専門職大学院です。

これまでに法学部、産業社会学部、文学部、映像学部、経済学部、理工学部、情報理工学部、生命科学部、スポーツ健康科学部と様々な学部から教職研究科に進学しています。他大学出身者、公立学校や本学附属校の現職教員なども進学しており、多様なバックグラウンドをもつ院生同士の学び合いによって、教員としての力を高めていくことができます。

立命館大学大学院教職研究科の特長

教職研究科では、「理論と実践の融合・往還」をキーワードにしています。長期実習や授業内でのフィールドワークを通して、理論の実践化と実践の理論化をはかる学修が展開されます。本学教職研究科は京都府、京都市、滋賀県、大阪府、大阪市の5教育委員会と連携しており、多彩な学校での実習やフィールドワークを経験することができます。

また、小学校、中学校、高等学校のどの学校種にも対応するカリキュラムを用意しています。さらに、「臨床教育」、「教育方法・学習科学」、「国際教育」の3コースを設定しており、入学後にいずれかのコースを選択し分野ごとの専門性を深めることができます。



科目例

科目区分		科目名
共通基本科目		カリキュラムデザインの理論と方法 教育方法・学習科学の理論と実践 共生社会時代の生徒指導・教育相談実践演習 学校マネジメントの理論と実践 現代の学校と教育実践 国際教育の理論と方法 など
専門実習科目		教職専門研修1～4
コース科目	コース共通科目	学校内外の連携による児童生徒支援 学校におけるICT活用 など
	コース必修科目	臨床教育 SEL(社会性と情動の学習)の実践的アプローチの現状と課題 など
		教育方法・学習科学 教科横断型授業の実践と課題 など
		国際教育 開発教育プロジェクトの実践と課題 など

教職研究科で取得可能な専修免許状

小学校教諭専修免許状

中学校教諭専修免許状

(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語、宗教)

高等学校教諭専修免許状

(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、書道、保健体育、家庭、情報、工業、商業、福祉、英語、宗教)

*専修免許状の取得には、一種免許状を取得していることが条件となります。

長期履修制度

職業を有することにより、標準修業年限(2年)を超えて計画的に教育課程を履修することができる制度で、2年間の学費で3年または4年間で学ぶことができます。

「教職専門研修」の特例

一定期間の実務経験がある現職教員については、本人の申請と研究科での審査を経て、「教職専門研修」の一部の履修が免除されます。

時間割や
受講形態の
工夫

長期履修制度を活用する現職教員院生のために、3年間で科目がローテーションし、3年に一度は必ず夜間時間帯に科目が開講される工夫をしています。長期履修制度活用者は、夜間時間帯の授業をオンラインで受講可能です。

利用しやすい
学修環境

朱雀キャンパスは交通の便もよく、また「リサーチライブラリー」(図書館)は、日曜も9時から22時まで開館(大学の休学期間を除く)、「院生自習室」や「教職研究科共同研究室」などの学修スペースも夜間時間帯まで利用できます。

お問い合わせ先・移転情報

■入学後のカリキュラム、研究内容、指導教員、出願書類に関するお問い合わせは…

研究科	事務室	連絡先	
法学研究科	法学部事務室	075-465-8175	law@st.ritsumei.ac.jp
社会学研究科	産業社会学部事務室	075-465-8184	shaken1@st.ritsumei.ac.jp
国際関係研究科	国際関係学部事務室	075-465-1211	ir-adm@st.ritsumei.ac.jp
文学研究科	文学部事務室	075-465-8187	letters@st.ritsumei.ac.jp
映像研究科	映像学部事務室	075-465-1990	rugseizo@st.ritsumei.ac.jp
言語教育情報研究科	衣笠独立研究科事務室	075-465-8363	doku-ken@st.ritsumei.ac.jp
先端総合学術研究科		075-465-8348	
経済学研究科	経済学部事務室	077-561-3940	gs-ec@st.ritsumei.ac.jp
スポーツ健康科学研究科	スポーツ健康科学部事務室	077-561-3760	spoken3@st.ritsumei.ac.jp
食マネジメント研究科	食マネジメント学部事務室	077-561-4801	gs-rmbk@st.ritsumei.ac.jp
理工学研究科	理工学部事務室	077-561-2624	rikou-in@st.ritsumei.ac.jp
情報理工学研究科	情報理工学部事務室	077-561-5202	gsise@st.ritsumei.ac.jp
生命科学研究科	生命科学部事務室	077-561-5021	in-gsls@st.ritsumei.ac.jp
薬学研究科	薬学部事務室	077-561-2563	gsph@st.ritsumei.ac.jp
経営学研究科	経営学部事務室	072-665-2090	gsba-1@st.ritsumei.ac.jp
政策科学研究科	政策科学部事務室	072-665-2080	gsp-s-adm@st.ritsumei.ac.jp
人間科学研究科	総合心理学部事務室	072-665-2190	sinri01@st.ritsumei.ac.jp
テクノロジー・マネジメント研究科	OIC独立研究科事務室	072-665-2100	motkoho@st.ritsumei.ac.jp
経営管理研究科		072-665-2101	rbs-ras@st.ritsumei.ac.jp
法務研究科	朱雀独立研究科事務室	075-813-8272	rits-ls@st.ritsumei.ac.jp
教職研究科		075-813-8269	kyoken-s@st.ritsumei.ac.jp

窓口時間(ご質問・ご相談は以下時間内をお願いいたします)

(月～金)10:00～11:30、12:30～17:00

(夏期・冬期・春期休暇中)13:00～17:00

※土日祝、大学の一斉休業期間中は対応していません

■大学院全般、Ritsu-Mate操作に関するお問い合わせは…

大学院課 075-465-8195 graduate-studies@st.ritsumei.ac.jp映像研究科・情報理工学研究科
2024年4月に 大阪いばらきキャンパスへ移転
「ソーシャルコネクティッド・キャンパス」の創造を目指します

個性ある2学部2研究科の移転を機に、立命館は大阪いばらきキャンパス(OIC)を「ソーシャルコネクティッド・キャンパス」、すなわち、社会課題を解決するための実証実験や価値創造が行われる、社会とのつながりと拡がりをもったダイナミックなプラットフォームへと改革を進めます。

さらに、OICの成果を他キャンパスの教育・研究へも展開し、新たな教育・大学のあり方を示し、学生・院生・研究者の満足度のみならず、企業や自治体などからも「連携したい」と期待されるキャンパスを形成します。

学費について(参考:2022年度入学者適用)

2023年度の入学者に適用する学費および諸会費は、2022年6月頃に決定する予定です。以下は2022年度の入学者に適用する学費を参考として掲載しています。なお、本学の学費は、入学金と授業料で構成されています。

■入学金

(単位:円)	
区 分	金 額
入学、転入学	200,000

※1 以下に該当する本学園出身者からは、入学金を徴収しません。
(1)本大学または立命館アジア太平洋大学の学部を卒業または大学院を修了した者が、本大学院に入学する場合
(2)本大学または立命館アジア太平洋大学の学部から引き続き本大学院に入学する場合
(3)本大学または立命館アジア太平洋大学の博士課程に標準修業年限以上在学し、博士論文以外の修了要件を満たし退学した者が、本大学院に入学する場合
※2 入学金は入学年度のみ納入していただきます。

■2022年度入学者に適用する大学院授業料

注意：・ 社会的な情勢の急激な変化等、やむを得ない状況への対処として授業料の変更を行うことがあります。
・ 学費とあわせて、入学年度に諸会費の納入をお願いしています。詳細については、入学試験要項を参照してください。

〈4月入学〉	〈9月入学〉
春学期授業料：4月1日から9月25日の授業料	秋学期授業料：9月26日から3月31日の授業料
秋学期授業料：9月26日から3月31日の授業料	春学期授業料：4月1日から9月25日の授業料

※9月入学者が入学手続時に納入する授業料は、1年次秋学期授業料のみとなります。

1)修士課程・区分制博士課程

(単位:円)						
所 属	1年次			2年次		
	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)
法学研究科、経営学研究科、社会学研究科、政策科学研究科	381,400	381,400	762,800	381,400	381,400	762,800
経済学研究科(MPEDコースを除く)	381,400	381,400	762,800	381,400	381,400	762,800
MPEDコース	457,700	457,700	915,400	457,700	457,700	915,400
文学研究科 人文学専攻	381,400	381,400	762,800	381,400	381,400	762,800
文学研究科 行動文化情報学専攻	392,200	392,200	784,400	392,200	392,200	784,400
国際関係研究科(GIRPを除く)	381,400	381,400	762,800	381,400	381,400	762,800
GIRP	457,700	457,700	915,400	457,700	457,700	915,400
人間科学研究科、スポーツ健康科学研究科	432,200	432,200	864,400	432,200	432,200	864,400
言語教育情報研究科	406,800	406,800	813,600	406,800	406,800	813,600
理工学研究科(数理科学コースを除く)	584,800	584,800	1,169,600	584,800	584,800	1,169,600
数理科学コース	546,600	546,600	1,093,200	546,600	546,600	1,093,200
情報理工学研究科、生命科学研究科	578,300	578,300	1,156,600	578,300	578,300	1,156,600
テクノロジー・マネジメント研究科	592,900	592,900	1,185,800	592,900	592,900	1,185,800
映像研究科	612,600	612,600	1,225,200	612,600	612,600	1,225,200
薬学研究科	578,300	578,300	1,156,600	578,300	578,300	1,156,600
食マネジメント研究科	401,800	401,800	803,600	401,800	401,800	803,600

※年次に関わらず、在学期間が標準修業年限を超えた者の授業料は上記の2分の1となります。

(単位:円)									
所 属	1年次			2年次			3年次		
	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)
全研究科	250,000	250,000	500,000	250,000	250,000	500,000	250,000	250,000	500,000

※年次に関わらず、在学期間が標準修業年限を超えた者の授業料は上記の2分の1となります。ただし、標準修業年限を超えた者で各研究科の修了要件のうち博士論文以外の要件を満たした者の授業料は学期あたり100,000円となります。

2)一貫制博士課程

所 属	1年次			2年次			3年次			4年次			5年次		
	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)
先端総合学術研究科	406,800	406,800	813,600	406,800	406,800	813,600	250,000	250,000	500,000	250,000	250,000	500,000	250,000	250,000	500,000

※年次に関わらず、在学期間が標準修業年限を超えた者の授業料は上記の2分の1となります。ただし、標準修業年限を超えた者で修了要件のうち博士論文以外の要件を満たした者の授業料は学期あたり100,000円となります。

3)4年制博士課程

所 属	1年次			2年次			3年次			4年次		
	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)
薬学研究科	250,000	250,000	500,000	250,000	250,000	500,000	250,000	250,000	500,000	250,000	250,000	500,000

※年次に関わらず、在学期間が標準修業年限を超えた者の授業料は上記の2分の1となります。ただし、標準修業年限を超えた者で修了要件のうち博士論文以外の要件を満たした者の授業料は学期あたり100,000円となります。

4)専門職学位課程

所 属	1年次			2年次			3年次		
	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)
法務研究科	664,800	664,800	1,329,600	664,800	664,800	1,329,600	664,800	664,800	1,329,600

※年次に関わらず、標準修業年限を超えた者の授業料は上記の2分の1となります。ただし、在学期間(2年修了課程においては2年、3年修了課程においては3年)を満たす者に限ります。

所 属	1年次			2年次		
	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)
経営管理研究科	634,300	634,300	1,268,600	634,300	634,300	1,268,600

※年次に関わらず、標準修業年限を超えた者の授業料は該当する回生の2分の1となります。

所 属	1年次			2年次		
	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)
教職研究科	457,700	457,700	915,400	457,700	457,700	915,400

※年次に関わらず、標準修業年限を超えた者の授業料は上記の2分の1となります。ただし、在学期間(2年)を満たす者に限ります。

CHECK IT

奨学金・助成制度の利用例(法学研究科の例)

本学では、授業料に関する奨学金に加えて研究活動に対する給付型の助成制度を多数取り揃えており(15ページ)、奨学金・助成制度は2人に1人が利用しています。以下は2022年度の法学研究科の例です。2023年度入学者に適用される制度は変更になる可能性があります。

博士課程前期課程1回生

■「1年次対象成績優秀者奨学金」を受給した場合

入学試験成績上位者に支給される「1年次対象成績優秀者奨学金」(20万円給付の場合)を受給した場合、授業料は約56万円となります。あわせて各種助成制度を利用することで、さらに経済的負担は軽減されます。

〔外国人留学生の場合〕

在留資格が「留学」でかつ私費外国人留学生であれば、「外国人留学生授業料減免(院生Ⅱ種)」を申請することで、授業料がさらに20%減免されます。

博士課程後期課程1回生

■「研究奨励奨学金A」を受給した場合

優秀な研究業績に応じて給付される「研究奨励奨学金」はA給付に該当すれば授業料相当額の奨学金が給付されるため、授業料は実質免除されます。また、各種助成制度も利用することができます。

■国や外部機関の奨学金および家計急変奨学金・教育ローン

以下奨学金等の詳細については、本学奨学金ウェブサイトを確認してください。また、内容が変更になる場合がありますので、必ず当該年度の募集要項を確認してください。

■日本学生支援機構貸与奨学金 ※ 第一種奨学金貸与者のみ「特に優れた業績による返還免除」の制度あり(申請受付は2月)

対象	本学大学院に在学する者。ただし、留学生・標準修業年限を超えて在学する者を除く。	
貸与月額	●博士課程前期課程、修士課程、専門職学位課程、一貫制博士課程1・2回生	●博士課程後期課程、一貫制博士課程3～5回生、4年制博士課程
	第一種(無利子)：月額5万円、8万8千円より選択	第一種(無利子)：月額8万円、12万2千円より選択
	第二種(有利子)：月額5、8、10、13、15万円より選択	第二種(有利子)：月額5、8、10、13、15万円より選択

※法務研究科の最高月額選択のみ増額可

■民間財団、地方公共団体等の奨学金事業〈学校推薦群〉〈一般公募群〉

対象	本学大学院に入学予定の者、在学する者。
学校推薦群	給付型／募集時期：2月下旬(一括募集)
一般公募群	給付型・貸与型／募集時期：随時各財団の締切による(自由応募)

■家計に急変が生じた場合の奨学金

入学後に家計の急変が起きた場合の奨学金制度は、大学独自の制度や日本学生支援機構の制度があります。急変事由により出願要件が異なります。

■各種教育ローン

低金利で利用できる教育ローンを紹介しています。

●国の教育ローン ●セディナ学費ローン ●オリコ学費サポートプラン ●滋賀銀行ジャストサポート

大学院入試 出願の流れ

STEP 1 入学したい研究科を決める

立命館大学大学院には、幅広い研究分野に対応する多数の研究科があります。
あなたが希望する研究分野を扱う研究科は、一つとは限りません。
まずは自身の研究分野の<キーワード>に関連する指導教員を【立命館大学研究者学術情報データベース】で検索し、
教員の所属する研究科の中から検討することをお勧めします。

- POINT

・立命館大学研究者学術情報データベースで検索
<https://research-db.ritsumei.ac.jp/rithp/TOP>
出願前に希望する指導教員を決める研究科もあります。
入学試験要項で、各研究科の出願方法をご確認ください。

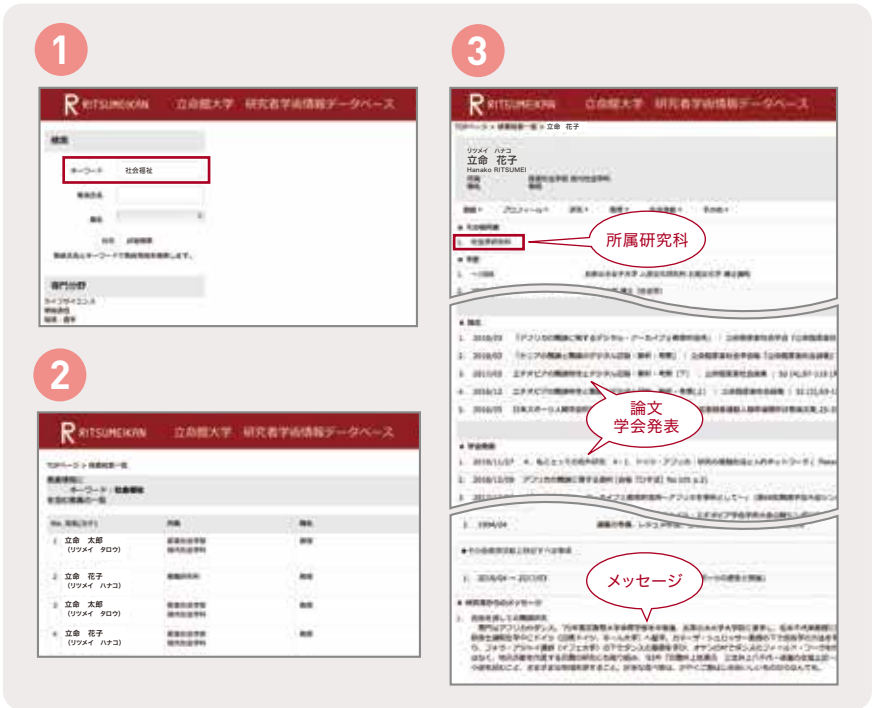


検索方法

- 興味を持っている研究
内容や分野について、
キーワードを入力して検索
- 検索したキーワードに関連する
研究を行っている教員の一覧が
表示されます。
キーワードがマッチしている
教員の名前をクリックしてください。
- 所属している研究科・研究テーマなど、
教員情報の詳細が表示されます。
各研究科のウェブサイトには、カリ
キュラムの特徴や教員などの情報が詳
しく紹介されています。候補の研究科
が決まったら、研究科ウェブサイトにも
アクセスしてください。

立命館大学 ○○研究科

検索



STEP 2 入学試験要項を確認する

研究科別の「入学試験要項」と、各研究科共通の注意事項を記載した「入学試験要項(研究科共通)」があります。
入学試験要項ダウンロードサイト <http://www.ritsumei.ac.jp/gr/exam/point.html/>

- POINT

・入学時期をチェック
「4月入学」「9月入学」があり、研究科や入試方式などによって異なります。

・入学試験方式を検討
各研究科に、様々な入学試験方式があります。自身の条件にあった方式を検討してください。

・出願資格・出願書類の確認
出願資格を満たさない場合、事前の個別審査によって出願を認める場合があります。
出願資格をよく確認して、必要な場合は個別審査申出期限までに申出を行ってください。



よくある質問

Q. 事前に指導を希望する教員と連絡をとる必要がありますか？
A. 研究分野のミスマッチを避けるため、教員への事前相談を求めている研究科や入試方式がありますが、事前相談の要否は入学試験要項に記載しています。希望する研究科の入学試験要項をご確認ください。

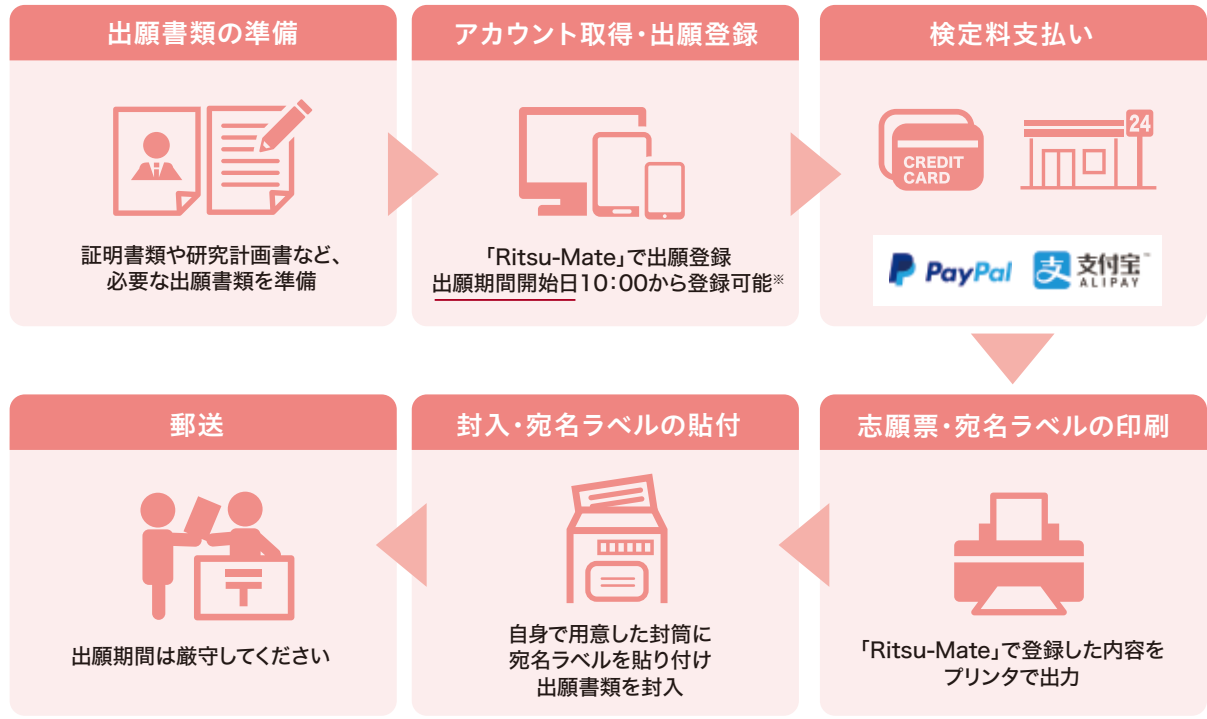
Q. 指導を希望する教員と連絡をとりたいのですが。
A. 「立命館大学研究者学術情報データベース」や各種ウェブサイト上にメールアドレスを公開している教員については、相談事項を明確にしたうえで、連絡をとっていただくことができます。
公開されていない場合は、志望している研究科の事務室に問い合わせてください。なお、個別の問い合わせにに応じていない教員や研究科もありますので、あらかじめご了承ください。

STEP 3 出願する

立命館大学大学院インターネット入学システム「Ritsu-Mate」(リツメイト)を使用します。 ※一部入学試験方式を除く



「Ritsu-Mate」



- POINT

※アカウントは出願期間前でも取得できます。事前に取得しておくことをおすすめします。
・「Ritsu-Mate」の入力だけでは、出願手続は完了しません。

STEP 4 受験準備～受験

「Ritsu-Mate」を使用して出願した場合、受験票は「Ritsu-Mate」からダウンロードできます。
書類選考など、試験日設定の無い試験の場合も、受験票をダウンロードして受験番号を確認することができます。

- POINT

・「Ritsu-Mate」を通じてお知らせが送信される場合があります。
・災害等により、「試験予備日」に入学試験を延期することがあります。

よくある質問

Q. 入学試験の過去問題は公開していますか？
A. 「立命館大学大学院 入試情報サイト」で、過去2年度分の入学試験問題を公開しています(一部、著作権等の理由により閲覧できない問題があります)。また、以下の窓口でも閲覧できます。
【窓口】
各研究科事務室、OIC学びステーション、大阪梅田キャンパス、東京キャンパス、立命館プラザ名古屋、大学院課(衣笠)
※各研究科事務室では、当該研究科の過去問題のみ閲覧できます。
※持ち出し・複写はできません。
※新型コロナウイルス禍の影響等により、窓口での閲覧を停止することがあります。窓口での閲覧を希望する際は、事前に閲覧可能かお問い合わせください。

STEP 5 合格発表

合格発表日の10:00(日本時間)に、「立命館大学大学院 入試情報サイト」に合格者受験番号一覧を掲示します。
また、「Ritsu-Mate」にログインして、合否結果を確認することもできます。
※受験生の便宜を考慮したものであり、正式な合否の発表は合否結果通知の郵送により行います。

入学試験方式によって、上記と異なることがあります。

アクセス

(2022年3月現在)

各キャンパスへの
交通機関



衣笠CAMPUS

JR・近鉄・地下鉄 京都駅 (烏丸中央口)	市バス (京都駅前)	50	42分	立命館大学前(終点)
	快速立命館		36分	
	JRバス (京都駅)	205	38分	衣笠駅前 徒歩10分
阪 急 西院駅	市バス (西大路四条)	205	13分	立 命 館 大 学 前
	快速立命館		15分	衣笠駅前 徒歩10分
阪 急 大宮駅	京福 (西院駅)	嵐山本線・北野線 (権子ノ辻乗換)	22分	立命館大学前(終点)
			17分	等持院駅 徒歩6分
			22分	龍安寺駅 徒歩6分
京 阪 三条駅 地下鉄 三条京阪駅	市バス (四条大宮)	52 55	25分	立命館大学前(終点)
	JRバス (四条大宮)	高雄・京北線	18分	立 命 館 大 学 前
	市バス (三条京阪前)	12	53分	立命館大学前(終点)
		15	34分	立命館大学前(終点)
		51	36分	立 命 館 大 学 前
		59	40分	立 命 館 大 学 前
JR・地下鉄 二条駅	市バス (二条駅前)	15 52 55	約20分	立命館大学前(終点)
	JRバス (二条駅前)	高雄・京北線	14分	立 命 館 大 学 前
J R 円町駅	快速立命館		8分	立命館大学前(終点)
	市バス (西ノ京町)	15	10分	立命館大学前(終点)
		臨	9分	衣笠駅前 徒歩10分
		204 (205)	5分	衣笠駅前 徒歩10分
	JRバス (円町)	高雄・京北線	8分	立 命 館 大 学 前

びわこ・くさつ CAMPUS (BKC)

京 阪 中書島駅	京阪バス (京阪中書島)	直行便	35分	立命館大学
J R 大阪駅	JR	新快速 50分		
J R 京都駅	JR	新快速 20分		
JR・近鉄 奈良駅	JR・近鉄(京都駅経由)	70分		
J R 三ノ宮駅	JR	新快速 70分		
	近江鉄道バス (南草津駅)	立命館大学行き または 立命館大学経由 松ヶ丘五丁目行き 県立長寿社会福祉センター行き	20分	

大阪いばらき CAMPUS (OIC)

J R 大阪駅	JR	快速 11分	J R 茨木駅	徒歩 5分
J R 京都駅	JR	新快速 12分	JR 高槻駅	快速 5分
J R 三ノ宮駅	JR	快速 41分		
阪 急 大阪梅田駅	阪急	準急 18分	阪 急 南茨木駅	徒歩10分
阪 急 京都河原町駅	阪急	特急 26分	阪急 茨木市駅	準急 2分
モノレール 門真市駅		14分	モノレール 南茨木駅	徒歩10分
モノレール 大阪空港駅		21分	モノレール 宇野辺駅	徒歩 7分
京 阪 枚方市駅	京阪バス (枚方市駅北口)	45分	立命館大学(岩倉公園前)	
阪 急 茨木市駅	京阪バス (阪急茨木)	7分	立命館大学(岩倉公園前)	

大阪梅田 CAMPUS (大阪富国生命 ビル5F・14F)

J R 大阪駅	JR南口	徒歩 5分	立 命 館 大 学
阪急・阪神 大阪梅田駅	阪急中央改札口／阪神東改札口	徒歩 5分／徒歩 3分	
地下鉄御堂筋線 梅田駅	南改札口	徒歩 3分	
地下鉄谷町線 東梅田駅	北東改札口	徒歩 1分	

朱雀CAMPUS

JR・近鉄・地下鉄 京都駅	JRまたは地下鉄(烏丸御池乗換)	JR・地下鉄 二条駅	徒歩 2分	立 命 館 大 学
阪 急 大阪梅田駅	阪急	約10分		
		40分	阪 急 大宮駅	徒歩10分

キャンパスを結ぶ
シャトルバスも運行中

正課、また課外活動に参加する本学学生のために、衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス(BKC)、大阪いばらきキャンパス(OIC)を結ぶシャトルバスを運行しています。

アクセス方法の詳細は、上記QRコードを読み込みウェブサイトでご確認ください。

立命館大学大学院に関する情報の入手方法

まずはウェブサイト、各種イベントで
立命館大学大学院のことを知ってください。



イベント 情報

立命館大学大学院への進学をお考えの方に向けて、
各種イベントを実施しています。是非ご参加ください。

●大学院進学説明会

研究科合同のイベントとして、春と秋に開催します。

- ◆実 施 内 容・・・研究科紹介、研究指導体制、カリキュラム、入試等の説明。
直接研究科の教職員に相談ができる機会です。
また、現役の大学院生と懇談できる場合もあります。

(上記は予定であり、日程によって参加研究科や実施内容が異なります。詳細はウェブサイトでご確認ください。)

●研究科別入試説明会

研究科主催で個別説明会を実施します。

開催日程については、ウェブサイトをご確認ください。

●大学院ウィーク

各キャンパスにて「大学院」に関わる企画を集中した期間に実施します(大学院授業・施設見学、教員・修了生・大学院生との懇談や相談会、大学院に関わるセミナーなど)。低回生にも大学院のことを知ってもらい機会ですので、お気軽にご参加ください。日程や企画内容はウェブサイトでご確認ください(一部の企画は学内生に限る場合があります。2021年度は11月にオンライン企画を中心に実施)。

ウェブ サイト

立命館大学大学院に関する情報について、「立命館大学大学院 入試情報サイト」から確認することができます。入学試験要項のダウンロードやインターネット入学システム「Ritsu-Mate」へのリンクの他、イベント情報、過去問題、教員情報等についても掲載しています。

入学試験要項
(出願書類)
過去の入試結果
過去問題

インターネット入学システム
「Ritsu-Mate」へのアクセス

研究科合同進学説明会
研究科別入試説明会
大学院ウィーク

研究科ウェブサイトへの
リンク

◆立命館大学
研究者学術情報データベース
こんな研究はどの研究科でできるの？
この先生はどの研究科？
などが調べられます。
・キーワード検索
・名前検索
・所属別一覧
・研究分野別一覧 など・・・

教員情報の検索

ウェブサイトの情報・構成は
変更されることがあります。
○2023年4月入学の入学試験要項は
2022年4月下旬公開予定です。
○2023年9月入学の入学試験要項は
2022年10月下旬公開予定です。

立命館大学 大学院 入試情報サイト

検索

URL : <http://www.ritsumei.ac.jp/gr/>

